

2007年12月期 第3四半期決算説明会

決算説明資料



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2007年11月12日



本資料は、株式会社マネーパートナーズの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまっています。

既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。

株式会社マネーパートナーズは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2007年11月12日現在において利用可能な情報に基づいて、株式会社マネーパートナーズにより2007年11月12日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

I. 当第3四半期の決算概況

II. 当第3四半期の事業概況

III. 当第3四半期の取組み

IV. 通期の見通し

V. 経営目標・経営戦略および重点課題

参考資料

I .当第3四半期の決算概況

第3四半期の決算のポイント

① 顧客基盤の更なる拡大

総口座数**37,326口座** ⇒ 前期末比**78.2%増**
預り証拠金**24,712百万円** ⇒ 前期末比**39.0%増**

② 外国為替顧客取引高(出来高)が急増

3Q取引高約**1,200億通貨単位** ⇒ 2Q比**71.0%増**、前年3Q比**442.3%増**

③ 営業収益、経常利益が前年同期比(2006年12月期第3Q比)で急拡大

- ◆ 営業収益=5,477百万円 (**351.2%増**)
- ◆ 経常利益=3,609百万円 (**4,543.1%増**)

※当四半期は連結の決算数値、前期(2006年12月期)の第1、第2四半期は単体の決算数値を用いておりますが、連結子会社の業績に与える影響は軽微と判断し、便宜的に同期比較分析を行っております。

2007年12月期第3四半期 連結業績

単位: 百万円

	2006/12期3Q	営業 収益比	2007/12期3Q	営業 収益比	前年同期比 (増減率)
営業収益	1,214	100.0%	5,477	100.0%	351.2%
受取手数料	354	-	4	-	-
外国為替取引損益	859	-	5,473	-	-
営業費用	1,135	93.6%	1,779	32.5%	56.6%
販売費及び一般管理費	1,135	-	1,779	-	-
営業利益	78	6.4%	3,698	67.5%	4,636.1%
経常利益	77	6.4%	3,609	65.9%	4,543.1%
税金等調整前中間純利益	77	6.4%	3,605	65.8%	4,538.8%
第3四半期純利益	72	6.0%	2,257	41.2%	3,008.8%
経常利益率		6.4%		65.9%	

※当四半期は連結、前期(2006年12月期)は中間まで単体、第3四半期より連結となっておりますが、連結子会社の業績に与える影響は軽微と判断し、便宜的に同期比較分析を行っております。

1. 昨年7月より手数料無料としたため営業収益の大半が外国為替取引収益へとシフト
2. 外国為替取引収益の急拡大により、営業収益は351.2%増加
3. 人件費、電算機費及び支払手数料の増加により営業費用は56.6%増加
4. 経常利益は、前年同期比4,543.1%増加し急拡大

2007年12月期第3四半期 販管費の概況

単位: 百万円

	2006/12期3Q	構成比	2007/12期3Q	構成比	前年同期比 (増減率)
人件費	290	25.6%	454	25.6%	56.4%
広告宣伝費	362	32.0%	289	16.3%	▲20.3%
電算機費	191	16.9%	420	23.7%	120.3%
減価償却費	12	1.1%	23	1.3%	92.6%
支払手数料	27	2.4%	208	11.7%	670.8%
その他	252	22.3%	382	21.5%	51.5%
販売費及び一般管理費合計	1,135	100.0%	1,779	100.0%	56.6%

※当四半期は連結、前期(2006年12月期)は中間まで単体、第3四半期より連結となっておりますが、連結子会社の業績に与える影響は軽微と判断し、便宜的に同期比較分析を行っております。

1. 人件費は、管理部門を中心とした組織体制の整備により56.4%増加
2. 広告宣伝費は、費用対効果を重視した営業政策により20.3%減少
3. 電算機費は、FXトレードシステムやネットワークの大幅な増強により120.3%増加
4. 支払手数料は、顧客取引高の急増に伴い大幅に増加

四半期業績推移

単位: 百万円

	2006/12期				2007/12期			前四半期 (07/2Q) 対比増減	前年同期 (06/3Q) 対比増減
	1Q(単体) (1月~3月)	2Q(単体) (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)		
営業収益	289	299	624	1,003	1,568	1,723	2,186	26.8%	250.1%
受取手数料	161	169	24	1	1	0	1	-	-
外国為替取引損益	128	130	599	1,001	1,566	1,722	2,184	-	-
営業費用	274	506	354	360	487	564	726	28.8%	104.8%
販売費及び一般管理費	274	506	354	360	487	564	726	-	-
営業利益	15	▲206	269	642	1,080	1,159	1,459	25.9%	441.5%
経常利益	14	▲206	269	642	1,079	1,098	1,430	30.3%	431.6%
税金等調整前四半期純利益	14	▲215	278	622	1,079	1,095	1430	30.7%	413.6%
四半期純利益	14	▲136	194	516	665	710	880	24.0%	354.0%
経常利益率	5.1%	▲68.8%	43.1%	64.0%	68.8%	63.7%	65.5%		

※2006/12期3Q~2007/12期は連結、2006/12期1Q、2Qは単体の決算数値を用いておりますが、連結子会社の業績に与える影響は軽微と判断し、便宜的に比較分析を行っております。

1. 当期3Qは、米国サブプライム問題により、2Q比で営業収益26.8%増、経常利益30.3%増
2. 営業収益経常利益率は、引き続き60%以上となり高水準を維持

四半期販管費推移

単位:百万円

	2006/12期				2007/12期			前四半期 (07/2Q) 対比増減	前年同期 (06/3Q) 対比増減
	1Q(単体) (1月~3月)	2Q(単体) (4月~6月)	3Q (7月~9月)	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)		
人件費	78	101	110	124	136	156	161	3.0%	46.3%
広告宣伝費	68	222	71	35	67	76	145	90.6%	102.2%
電算機費	53	64	73	74	115	133	171	28.6%	133.3%
減価償却費	4	4	3	2	3	5	13	129.3%	286.0%
支払手数料	1	8	17	28	53	72	82	13.1%	379.8%
その他	67	106	78	95	110	119	152	27.9%	94.1%
販売費及び一般管理費合計	274	506	354	360	487	564	726	28.8%	104.8%

※2006/12期3Q~2007/12期は連結、2006/12期1Q、2Qは単体の決算数値を用いておりますが、連結子会社の業績に与える影響は軽微と判断し、便宜的に比較分析を行っております。

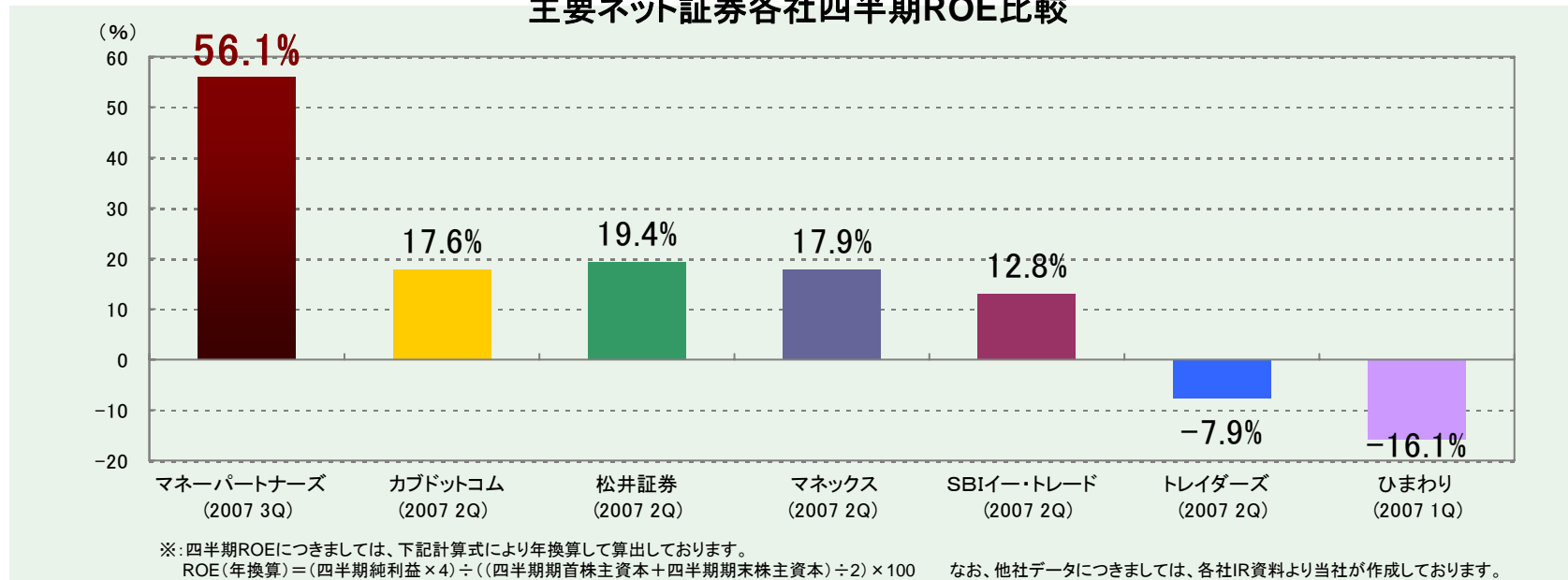
1. 人件費、広告宣伝費、電算機費等の増加により当期3Qの販管費は2Q比28.8%増加
2. 3Q広告宣伝費は、入金キャンペーン及び新聞広告による一時費用により増加

主要経営指標推移

単位: %、百万円

	2006/12期	2007/12期		
	4Q (10月~12月)	1Q (1月~3月)	2Q (4月~6月)	3Q (7月~9月)
ROE(株主資本利益率)※	158.3%	140.3%	70.4%	56.1%
[参考]株主資本	1,564	2,230	5,839	6,724
営業収益経常利益率	64.0%	68.8%	63.7%	65.5%

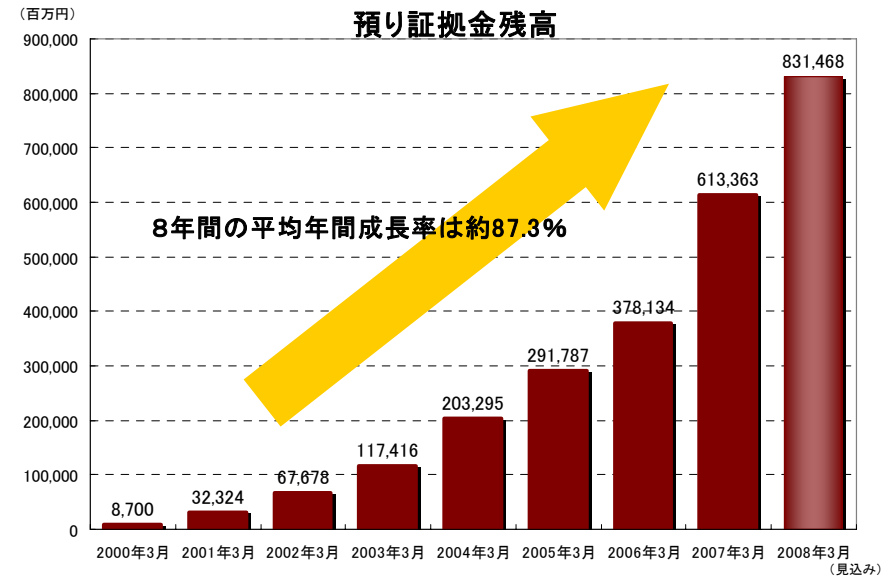
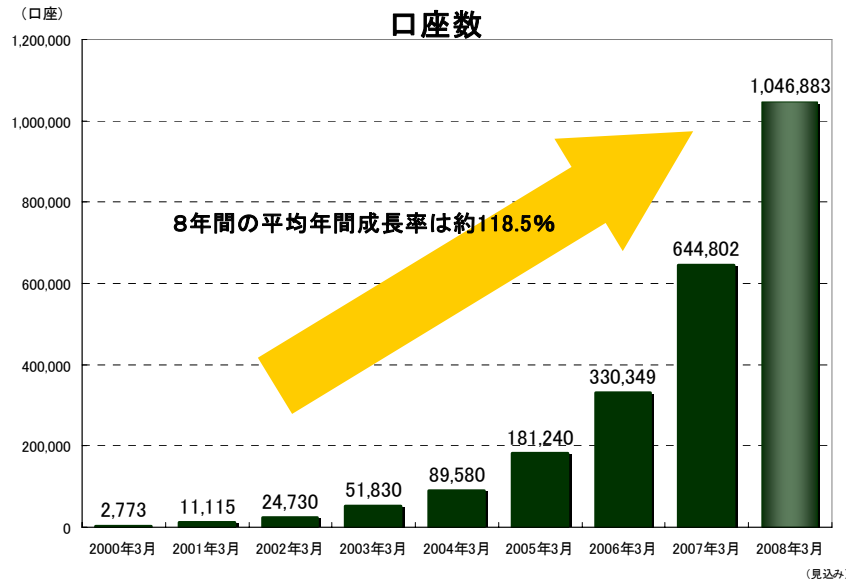
主要ネット証券各社四半期ROE比較



1. 株主資本の効率的な活用により高い純利益を確保しているためROEは高水準を維持

II. 当第3四半期の事業概況

外為証拠金取引を巡る市場環境



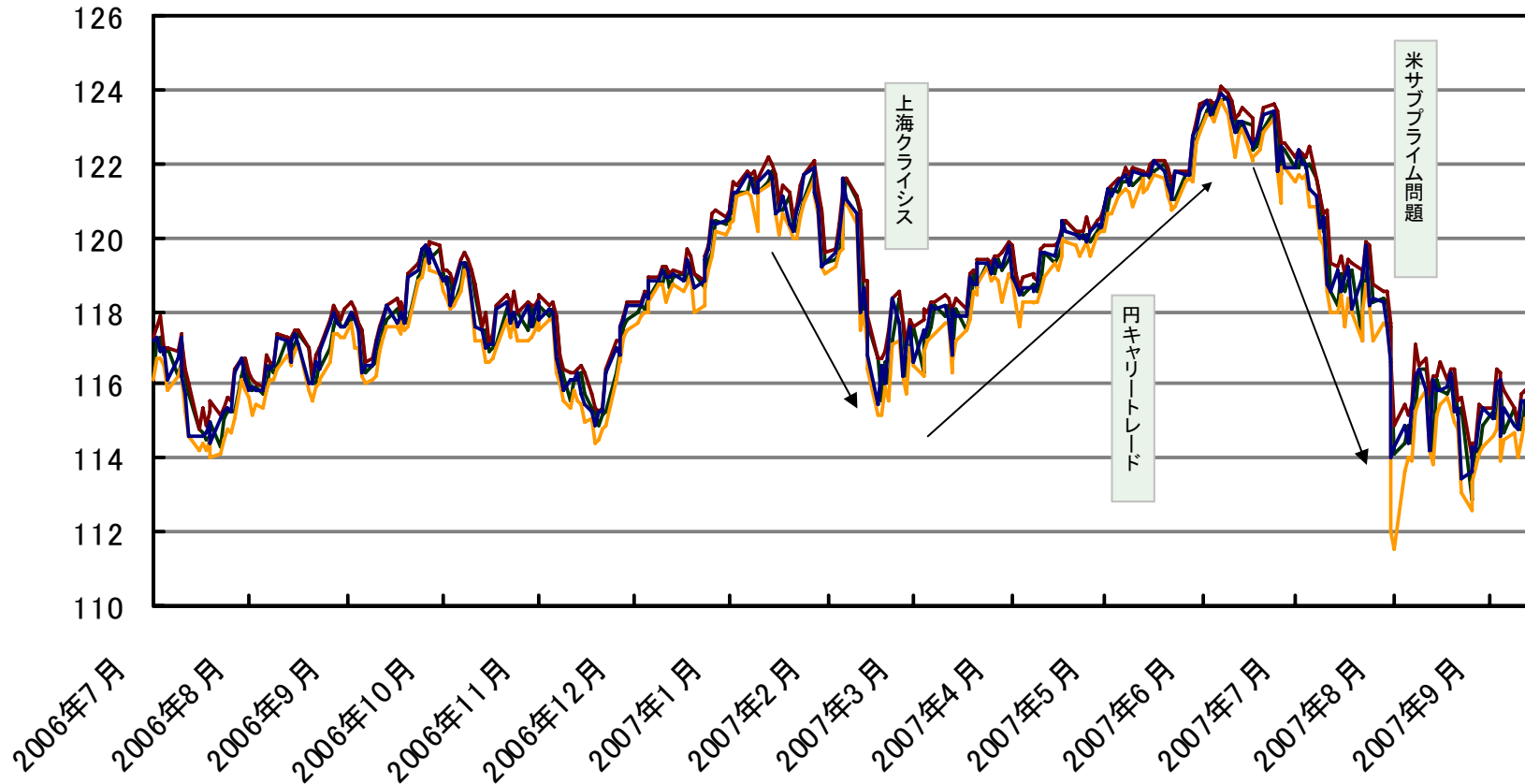
(数値は矢野経済研究所調べ)

FX取引を取扱う主な証券会社		
証券会社	参入時期	サービス名
松井証券	2001年4月	NetFX
イトレード証券	2003年4月	E*TRADE FX
マネックス証券	2003年4月	マネックスFX
楽天証券	2003年7月	マーケットFX
日興コーディアル証券	2003年4月	外為倶楽部
大和証券	2006年2月	ダイワFX
ジョインベスト証券	2007年2月	ジョインベストFX
カブドットコム証券	2007年5月	外為FX

- 口座数、預り証拠金は毎年約2倍の勢いで増加
- 2005年7月に東京金融先物取引所に「くりっく365」が上場
一般投資家へのFX取引の認知度が急速に高まる
- 2007年9月末現在45証券会社が取扱い開始
- NTTグループやカカコム、サイバーエージェント、GMO
インターネット、エキサイトなどIT系もFX取引を開始
- 来年以降、住信SBIネット銀行、ソニー銀行も参入予定

急拡大を続けるFX市場、証券会社やIT系企業に加えネットバンクも参入表明

USD/JPY日足チャート



2月末の「上海クライシス」後、日米金利差による「円キャリートレード」でドル高円安傾向
▶ 8月「米サブプライム問題」により短期間で急激なドル安円高に

8月中旬の急激な円高

- ・当社の中心顧客はアクティブトレーダー層
- ・相場の変動(ボラティリティ)に応じて取引活発化
- ・売買の比率は、売りと買いが拮抗

円高に振れて顧客預り証拠金は若干のマイナス

24,980百万円(7月) → 21,819百万円(8月)

それゆえ

しかし

当社外国為替顧客取引高(収益)は、円高・円安などのトレンドに依存せず、8月中旬の相場急変時は当社始まって以来の記録的な売買高を達成

建玉として利用されている必要証拠金が四分の一程度であるため、同業他社と比べ預り証拠金の毀損率は低くかつ、顧客基盤は短期間に急速な回復を実現

8月度 出来高	530億6,078万通貨単位
前月比	+27.7%
円価換算ベース	6兆6,916億円

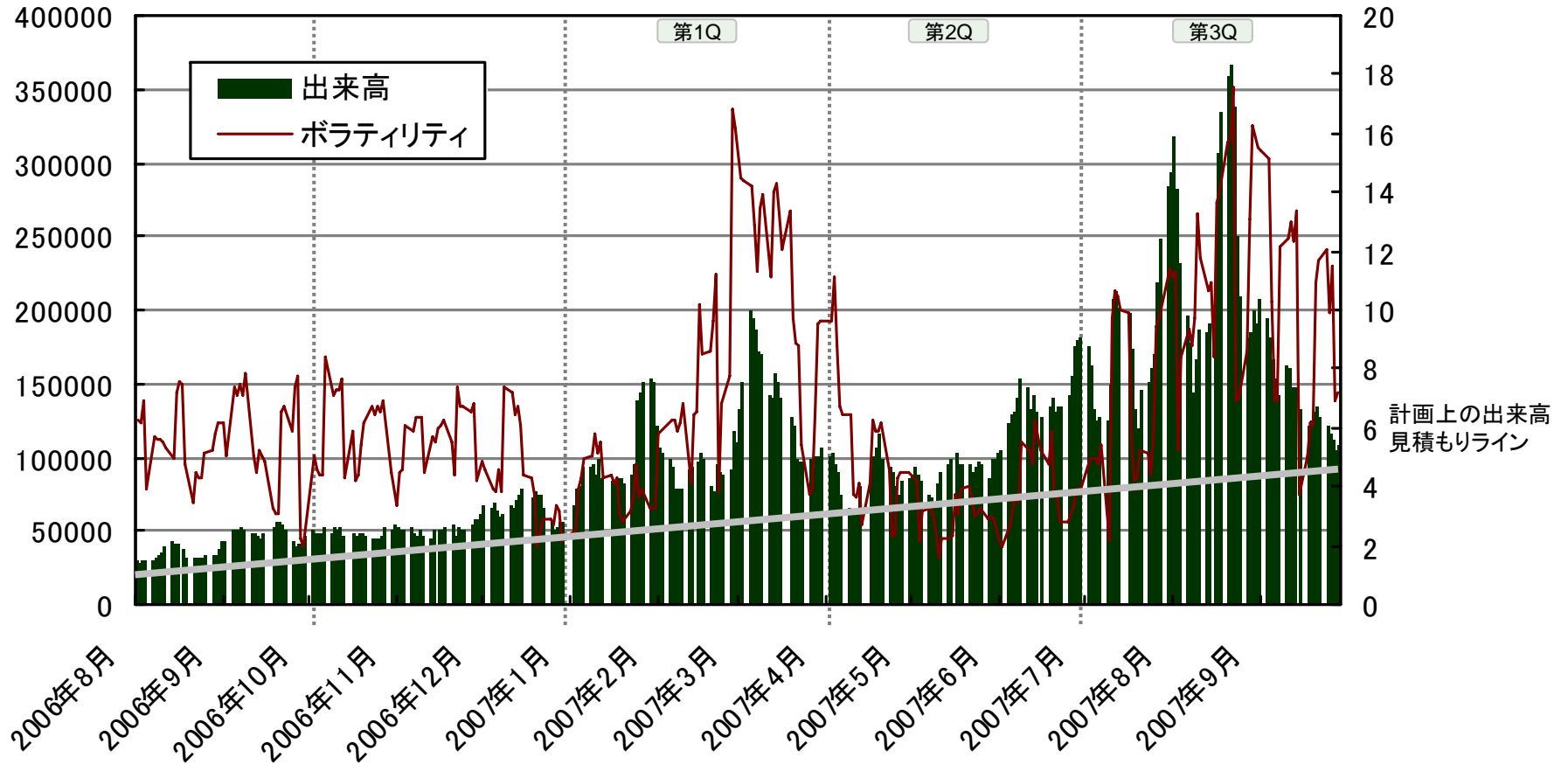
21,819百万円(8月) → 24,712百万円(9月)

当社業績に与えるインパクトはポジティブ

急激な相場変動による業績への影響について②

出来高・ドル円ボラティリティ

※5日平均値(5営業日のデータを基にした年間ヒストリカルボラティリティ)



当社の外国為替顧客取引高は、通貨のボラティリティ(変動率)との相関性が極めて高い



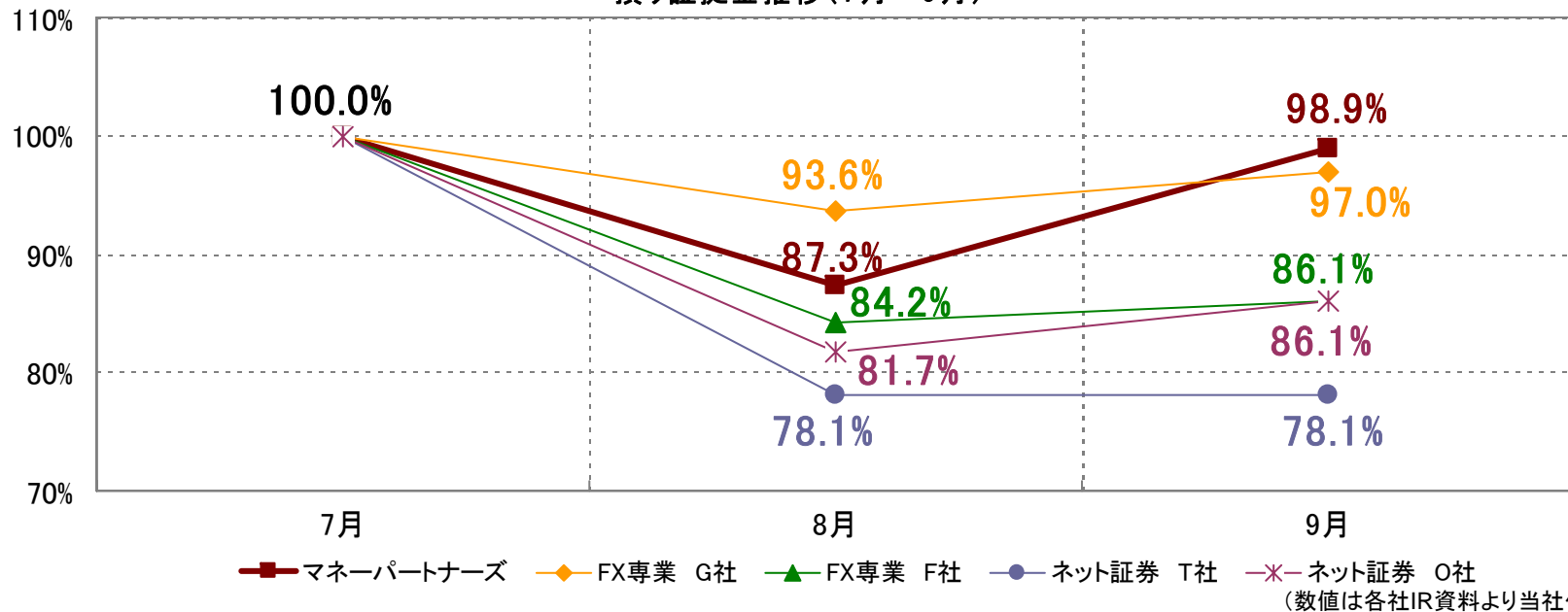
事業計画は、相場が「なぎ」(変動率低)の状態を想定して作成

急激な相場変動による業績への影響について③ Money Partners

	8月	9月	
	前月比(7月)	前々月比(7月)	前月比(8月)
マネーパートナーズ	△12.7%	△1.1%	+13.3%
FX専業 G社	△6.4%	△3.0%	+3.5%
FX専業 F社	△15.8%	△13.9%	+2.2%
ネット証券 T社	△21.9%	△21.9%	+0.0%
ネット証券 O社	△18.2%	△13.9%	+5.3%

・8月の急激な相場変動により、8月末時点で約13%預り証拠金が減少するものの、9月末時点では、8月末比で約13%増加。
 ・他社に先んじて、ほぼ相場急変の前の水準まで回復

預り証拠金推移(7月~9月)

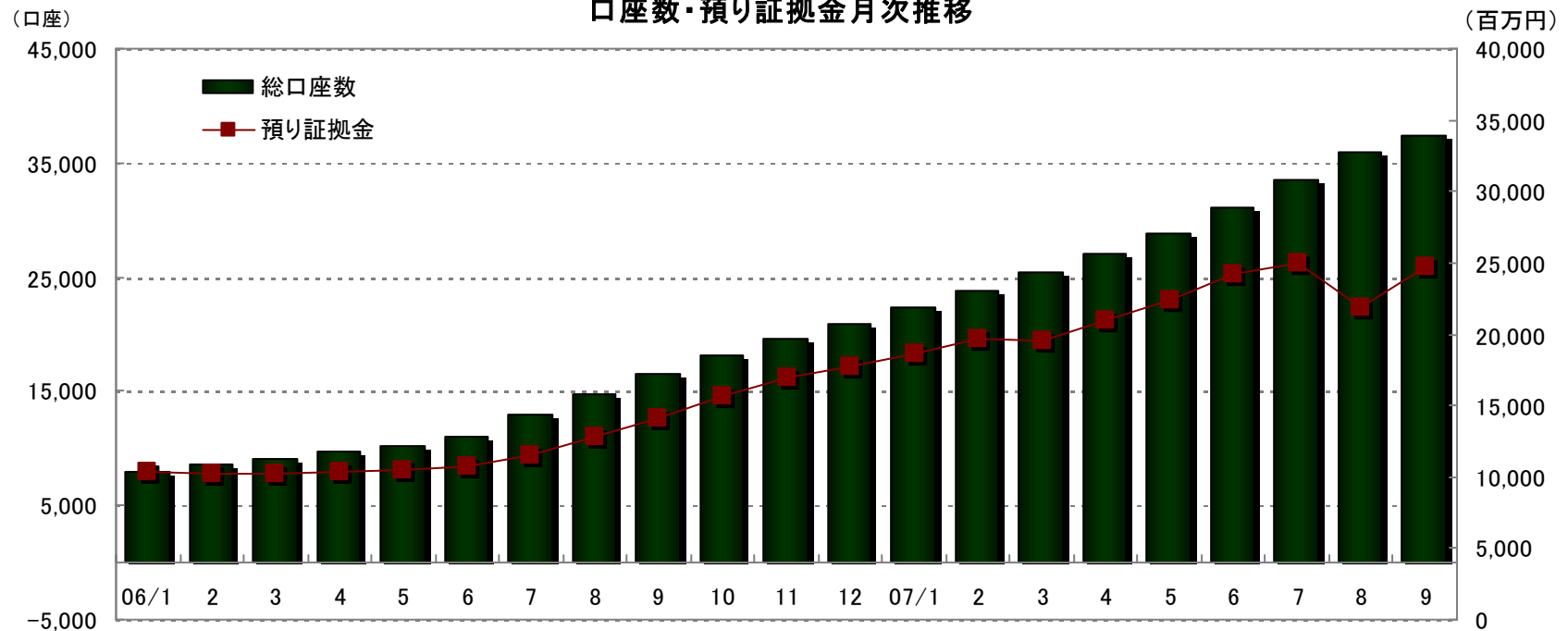


アクティブユーザーを中心に預り証拠金も順調に回復

顧客口座数と預り証拠金の推移

区分	決算期							
	第1期 (平成17年)	第2期 (平成18年)				第3期 (平成19年)		
	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
【顧客口座数】 (単位:口座)	7,479	9,128	11,063	16,451	20,948	25,458	31,078	37,326
【顧客預り証拠金】 (単位:百万円)	10,399	10,185	10,680	14,095	17,776	19,507	24,188	24,712

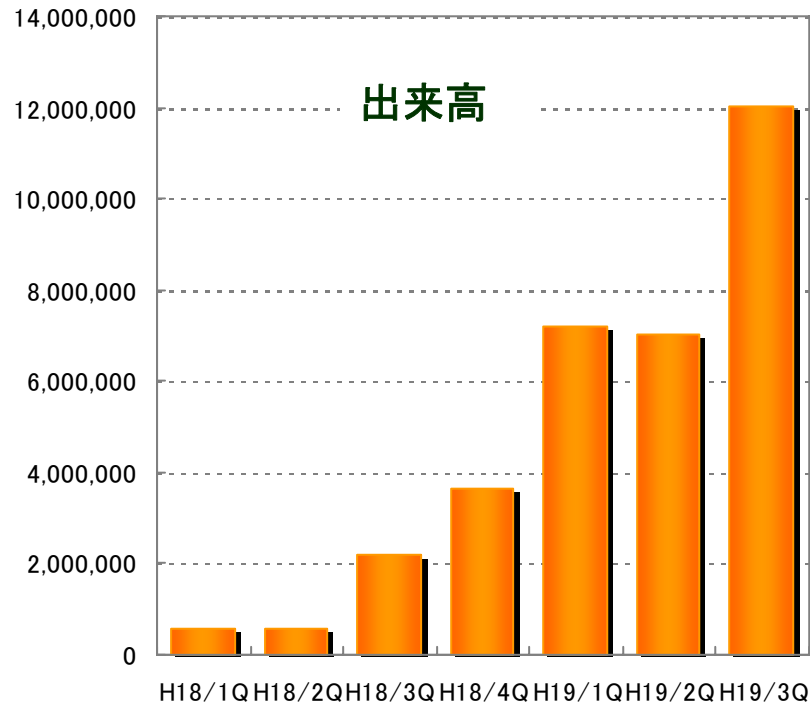
口座数・預り証拠金月次推移



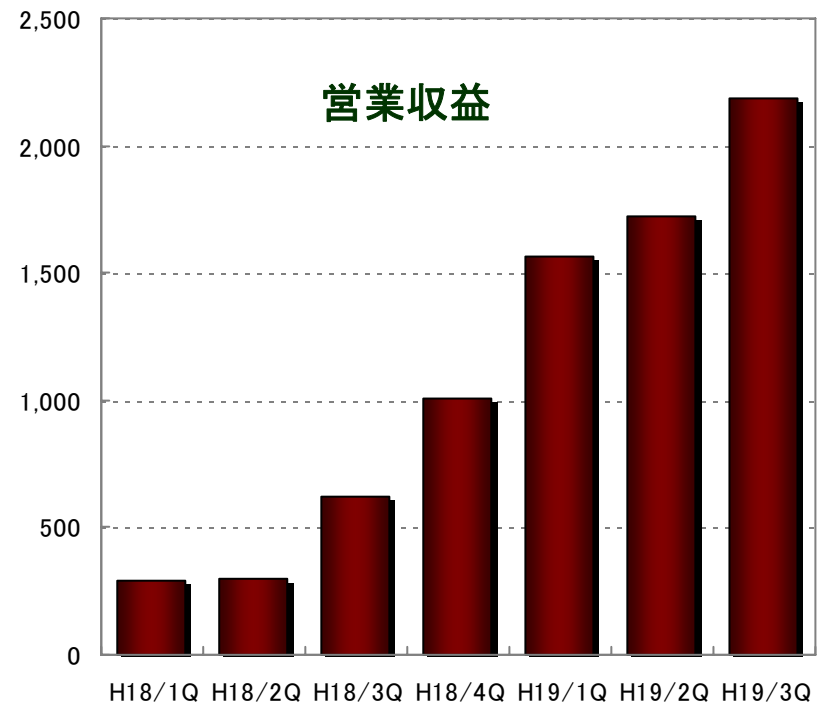
口座数は月次平均6.6%ずつ増加、証拠金はサブプライム減少分を吸収

出来高と営業収益の推移

(万通貨単位)



(百万円)

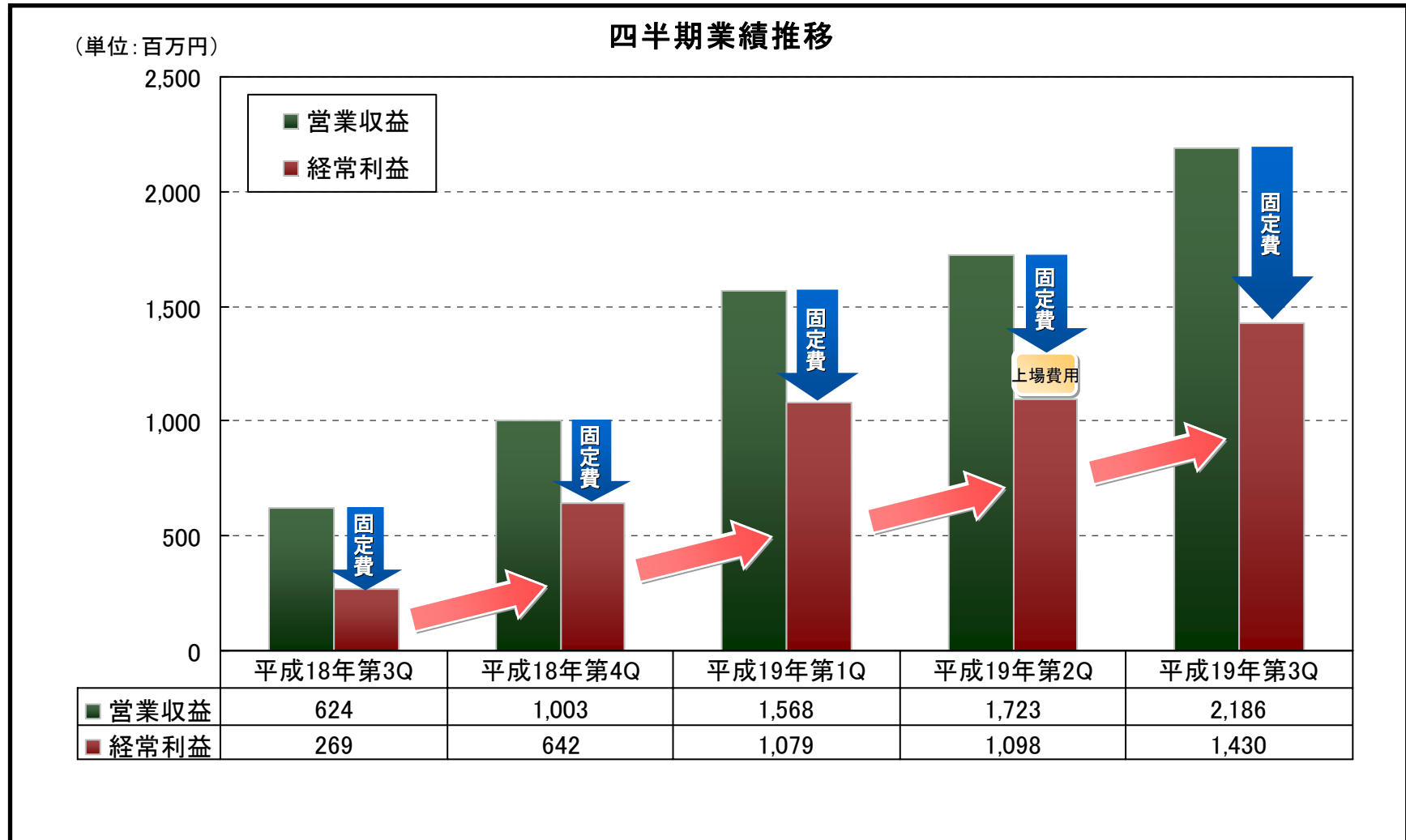


	H18/1Q	H18/2Q	H18/3Q	H18/4Q	H19/1Q	H19/2Q	H19/3Q
出来高	565,919	565,919	2,213,913	3,636,517	7,182,890	7,022,918	12,006,950
営業収益	289	299	624	1,003	1,568	1,723	2,186

(単位＝出来高：万通貨単位、営業収益：百万円)

出来高・営業収益ともに順調に拡大

平成18年第3Qより四半期ベースの連結業績グラフ



III.当第3四半期の取組み

システム関連の取組み

- ① リスク管理システムの拡充予定 → 3種類のシステムで顧客サポート
- ② 第二データセンター及び次期基幹システム

顧客向けサービス関連の取組み

- ① 通貨ペアのスプレッドナロー化(ユーロ円、ポンド円、ユーロドル、南アランド円)
- ② Hyper Speed Ver.2.0β版 約1,000名顧客にモニターリリース
- ③ FX取引画面 10パターン色 選択可能化
- ④ WEBセミナー(合計8回)

その他の取組み

- ① 金融商品取引法施行に対する対応
- ② 財務報告に関わる内部統制(日本版J-SOX)対応
- ③ 迅速性のある情報開示の推進

証拠金、建玉、純資産評価でリスク管理のシステム



為替相場の急変動による損失の拡大リスクについて顧客自ら管理が可能に

第二データセンター及び次期基幹システム

当社の基幹システムにおける主な対応状況と今後の対応予定

- 19年2月 HP Integrity Superdome稼動
- 19年3月 WEBサーバを4台追加し10台構成に増強
- 19年4月 顧客向けアプリケーションサーバを2台追加し4台構成に増強
- 19年8月 WEBサーバ10台を追加し20台構成に増強
- 19年8月 モバイル用サーバを1台追加し3台構成に増強
- 19年9月 顧客向けアプリケーションサーバを2台追加し6台構成に増強
- 19年10月 顧客向けニュースサーバを4台追加し8台構成に増強
- 19年11月 (予定) 約定処理サーバを16Way64bit高速サーバ化
- 19年12月 (予定) ヒストリカルデータベース(チャート等配信用)を増強
- 20年1月 (予定) 第2データセンター稼動
- 20年2月 (予定) 第2データセンターにおいてHP Integrity Superdome追加稼動
ネットワーク、インフラを大規模に増強した環境整備
(19年10月15日適時開示済)
- 20年2月以降(予定) 第2データセンターアプリケーションサーバを順次稼動
次期基幹システムの稼動 (19年9月20日一部適時開示済)

今後の顧客取引拡大を見込み安定的、継続的なサービス提供を可能に

商品性と利便性のブラッシュアップ

■ドル/円3pips恒常化に続き、4通貨ペアのスプレッドをナロー化

7月2日～

通貨ペア	変更前	変更後
ユーロ/円	5pips	4pips
ポンド/円	9pips	8pips
ユーロ/ドル	5pips	4pips
南アランド/円	8pips	6pips

9月28日～

通貨ペア	変更前	変更後
南アランド/円	6pips	4～5pips

■10月 Hyper Speed Ver.2.0 β 版 約1,000名顧客にモニターリリース



顧客の取引コスト最小化と売買注文の即時性をサービス提供

取引画面10色、WEBセミナーの提供

■顧客の嗜好に合わせて、FX取引画が10パターン色から選択可能に



standard red-orange
pink-gold monotone-black
monotone-sky white-peach
monotone-blue char-red
classic toricolor

その時々気分自由に



■合計8回のWEBセミナーを実施

- 7月19日 テクニカルセミナー「トレンドを把握して為替相場を読む」
- 24日 女性向けセミナー「FXレッスン-今話題のFXにチャレンジ」
- 8月20日 リスク管理セミナー「リスク管理のコツを伝授」
- 31日 奥山社長セミナー「これからのマネーパートナーズとFX」
- 9月19日 初心者向けセミナー「“売り”の重要性を認識しよう」
- 22日 同
- 26日 初心者向けセミナー「もっと知りたいリスク管理」
- 29日 同

当社の社長、アナリスト、コールセンター職員が、当社の顧客を中心とした受講者に対し、FXの仕組みやリスク管理について講演。顧客の満足度向上策を継続的に展開。

顧客の当社へのロイヤリティ向上のために細やかな施策を実施

金融商品取引法施行に対する対応

平成19年9月30日に施行された金融商品取引法(金商法)に対応するために、契約約款の改訂やホームページの大幅な改訂等、投資家保護及び投資環境を整備。

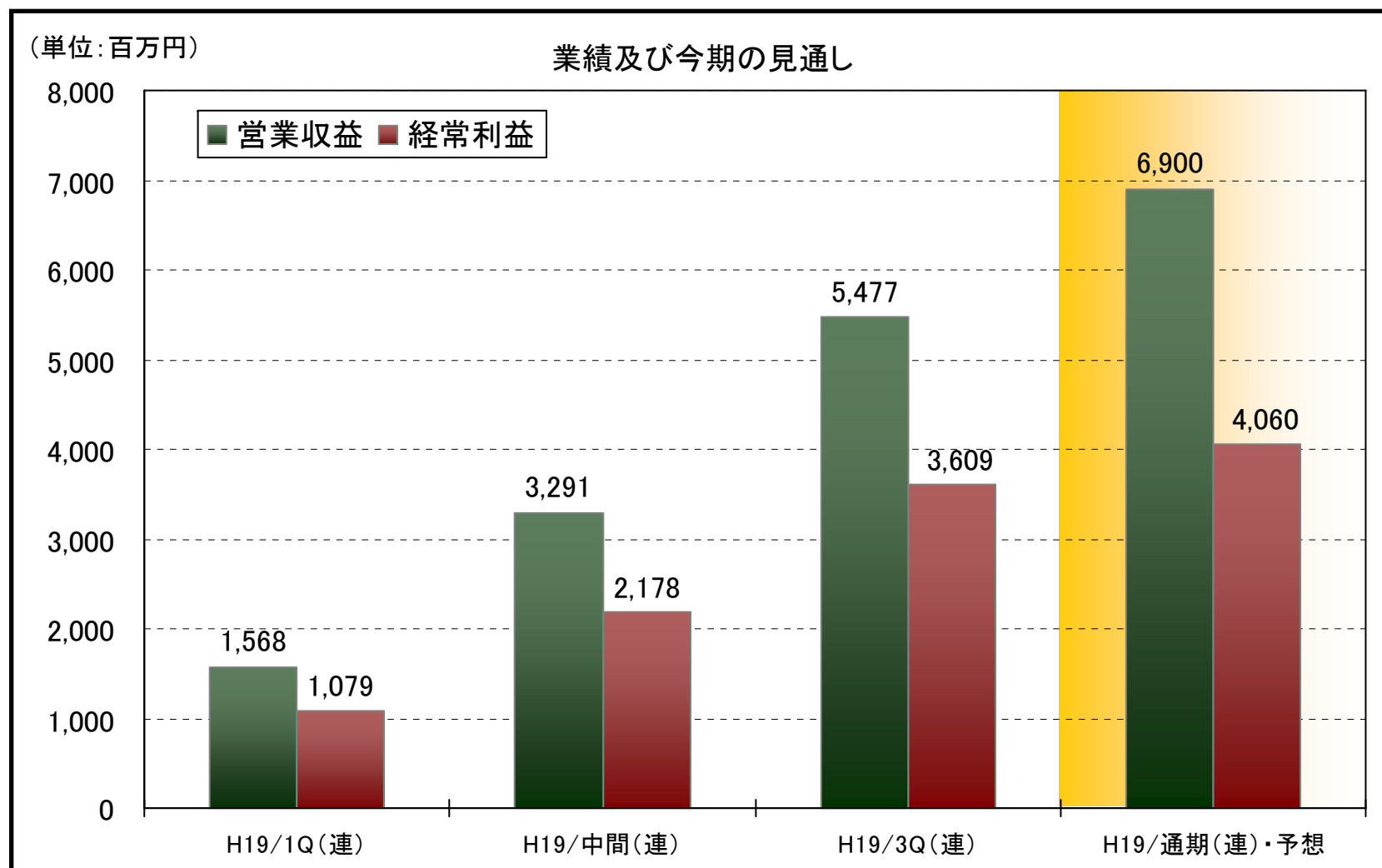
財務報告に関わる内部統制(J-SOX)対応

平成20年4月1日以降開始する事業年度より、全ての上場企業に適用される内部統制報告制度に備え、「内部統制対策プロジェクト」(責任者:代表取締役社長 奥山泰全)を発足させ内部統制構築に向けた取り組みを開始。

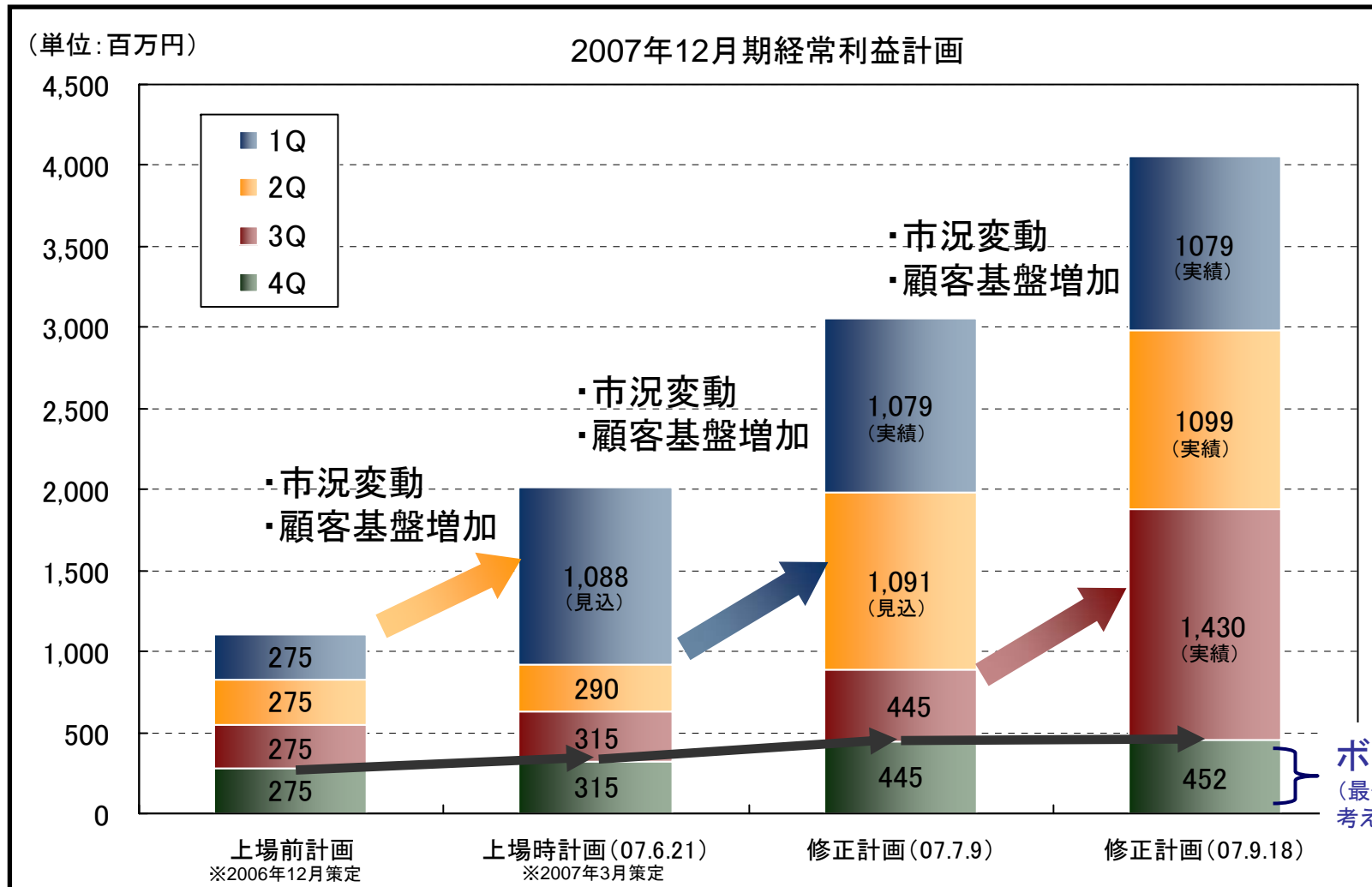
迅速性のある情報の開示を推進

毎月末の「顧客総口座数」及び「顧客預り証拠金」の開示を翌月15日前後に、自己資本規制比率の開示を翌月末に、当社ホームページで継続して開示することを決定。

IV.通期の見通し

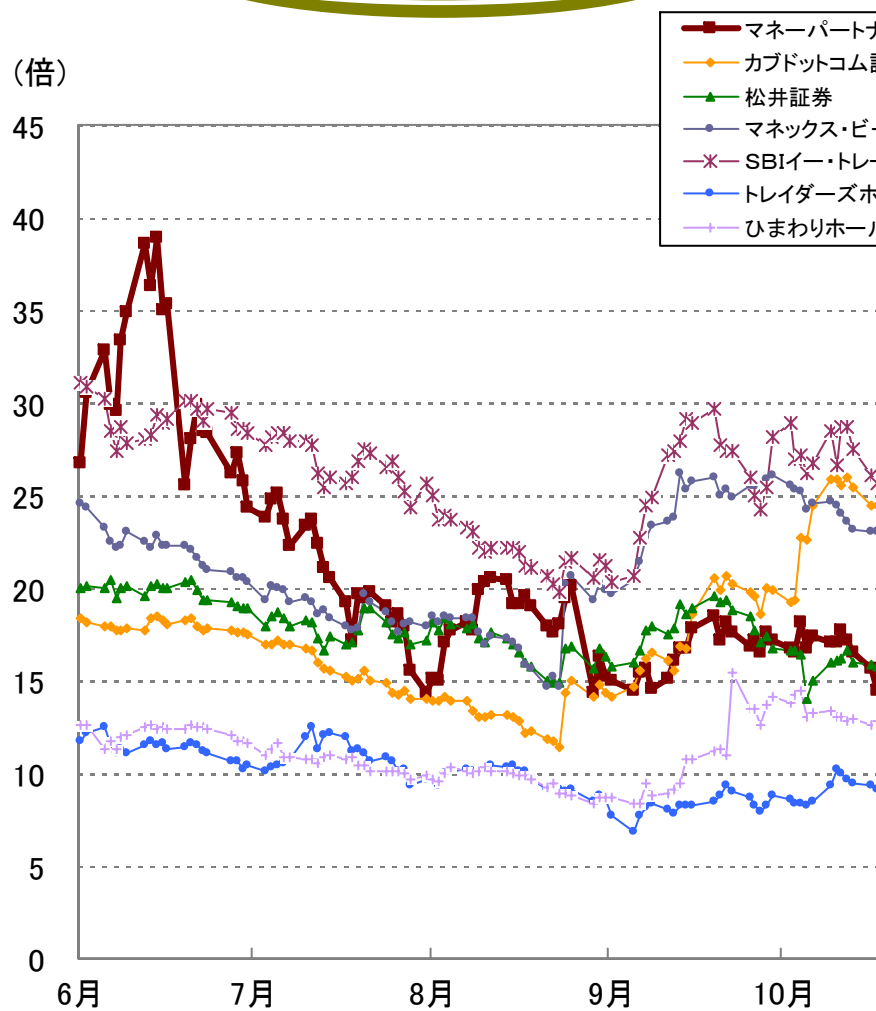


利益計画の立て方について



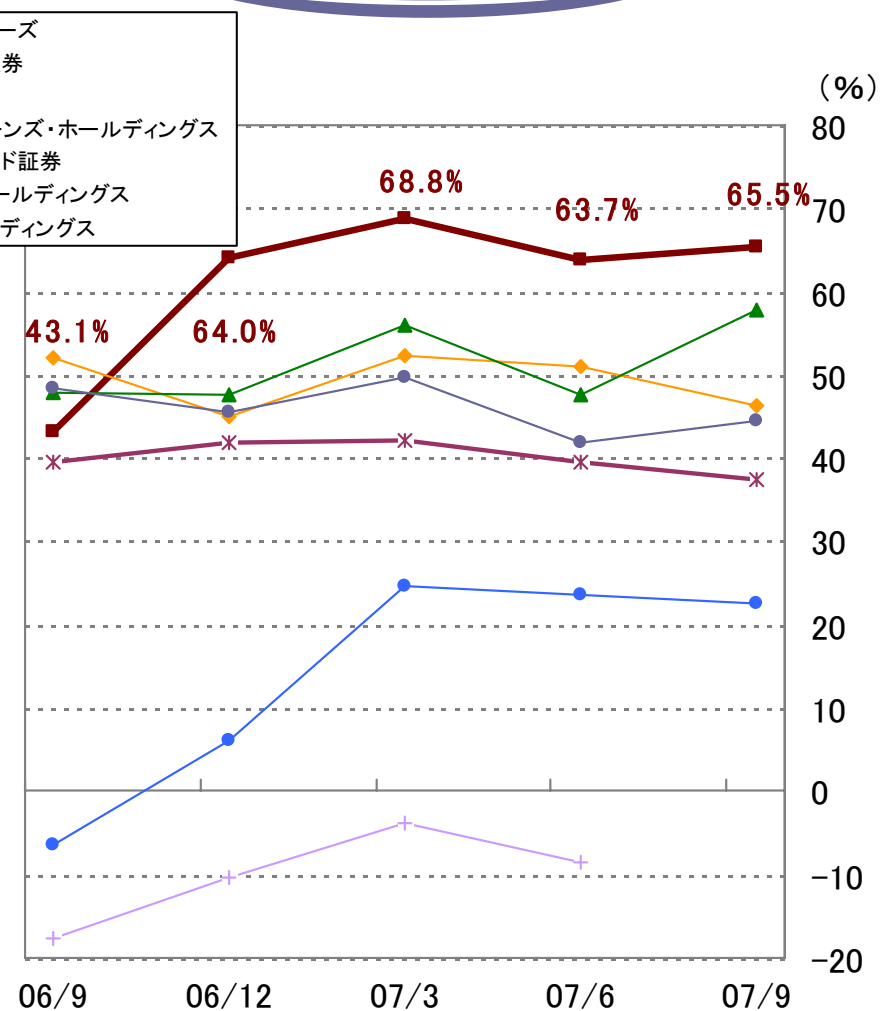
ご参考: ネット証券各社とのPER比較

株価収益率 推移



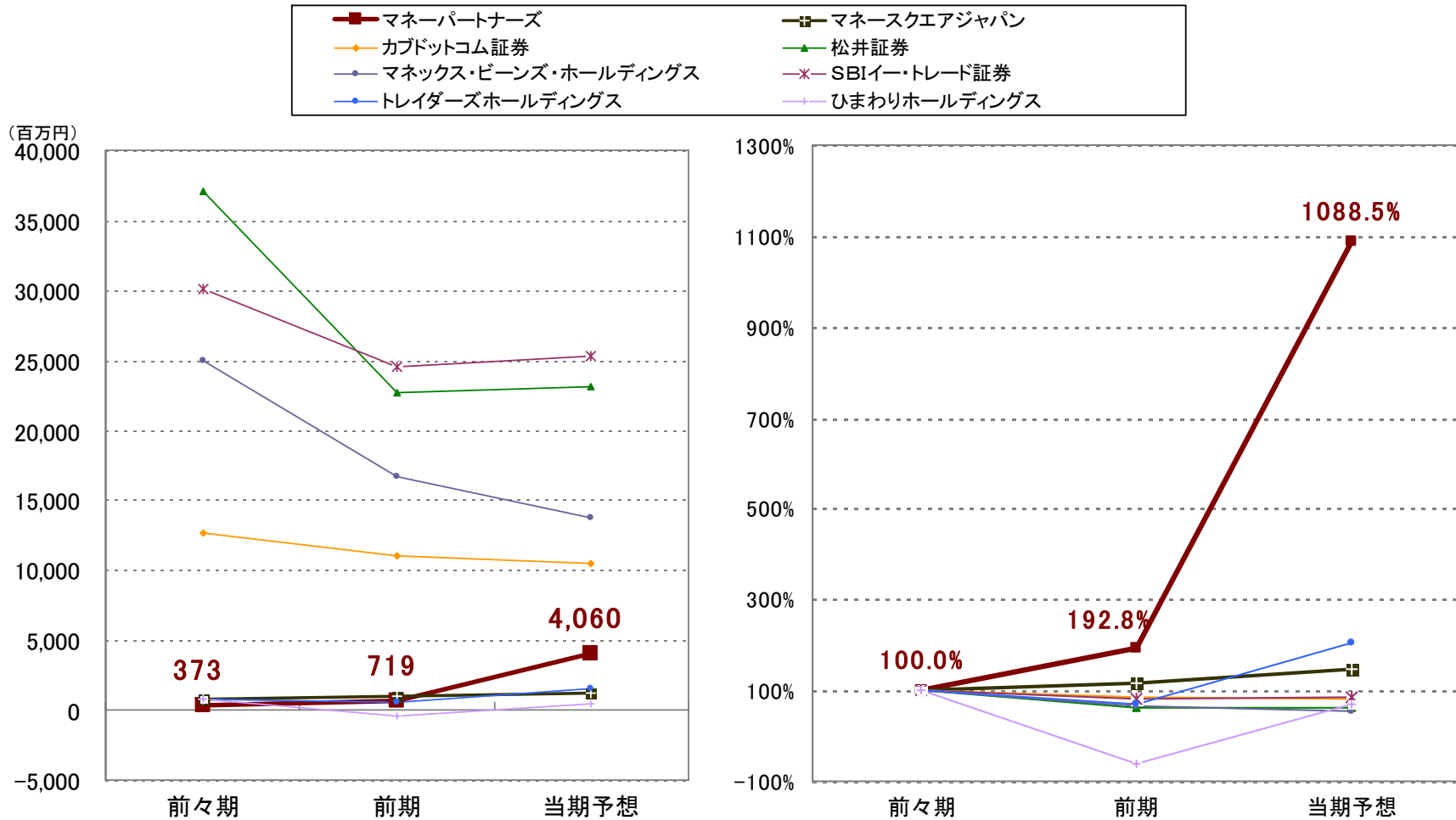
※各社PERの算出のためのEPS計算には、日経会社情報予想の当期純利益を使用

経常利益率 推移



※数値は各社IR資料より当社作成

経常利益 推移



※上記の右グラフは前々期の経常利益の値を100% (基準値) として作成しております。(当社は2005年12月期を基準、他社は2006年3月期を基準)
 前期・前々期の経常利益につきましては各社IR資料を使用、当期予想につきましては各社IR資料および日経会社情報予想の経常利益を使用しております。

V.経営目標・経営戦略および重点課題

高水準のROEおよび営業収益経常利益率の維持

- 当社は、企業価値の最大化のため株主資本を効率的に活用することを重視しております。
- このために効率的な収益構造の実現を目指してまいります。
- 効率性を計る尺度として、株主資本利益率(ROE)及び営業収益経常利益率を重要な経営指標として位置づけております。



当第3四半期のROE(年換算※)は56.1%を達成

- ・中間期に引き続き、高水準のROEを維持。
- ・ROEの高水準維持のため、更なる効率化を目指します。

※:当第3四半期ROEにつきましては、下記計算式により年換算して算出しております。

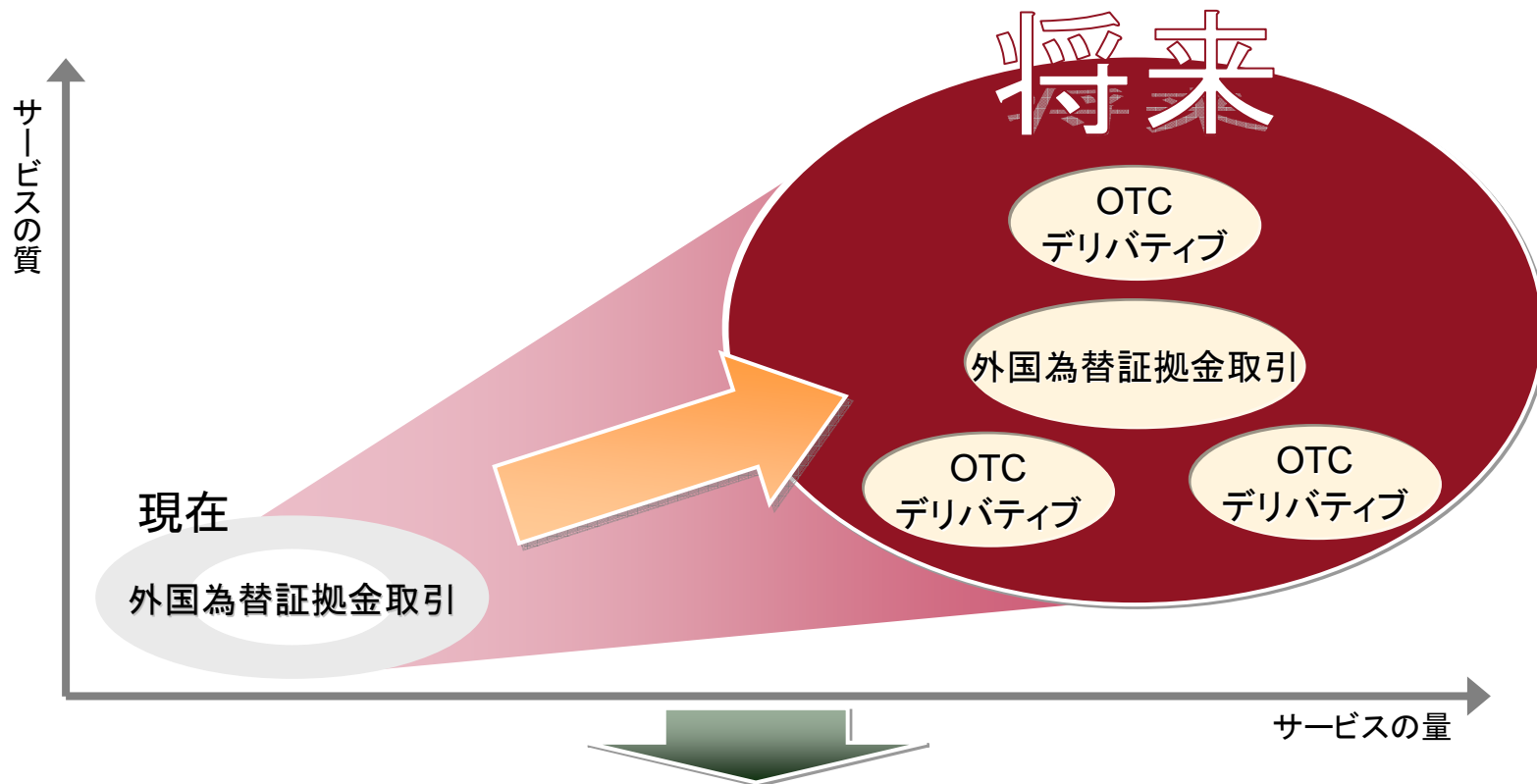
$$ROE(年換算) = (第3四半期純利益 \times 4) \div ((第3四半期期初株主資本 + 第3四半期期末株主資本) \div 2) \times 100$$



当第3四半期営業収益経常利益率は、65.5%となり、4四半期連続で60%越えを達成。

- ・トランザクション型ビジネスモデルによる高水準の利益率。
- ・顧客基盤の安定的な増加と顧客による外国為替取引高の増加を目指します。

- 外国為替拠金取引をビジネスの基軸とし、顧客基盤と収益を拡大させ事業を展開
- 商品性の更なる向上、ツールの洗練化、取引システムの一層の安定化などを通して競争優位を確立
- OTCの特性を活かし、金融デリバティブ商品を展開し、FXに次ぐ収益の柱へ



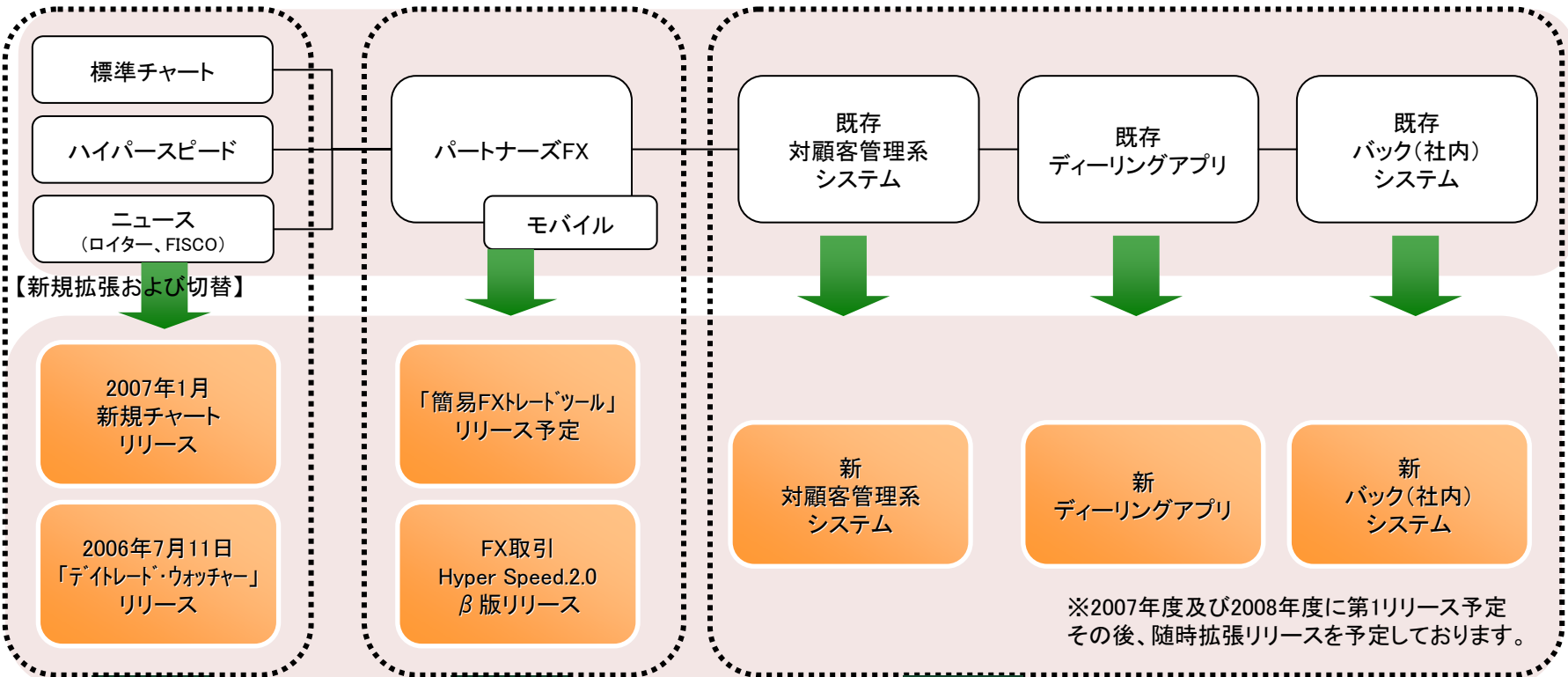
顧客から信頼され、安心できる会社としての認知を獲得

重点課題① 自社開発システムの拡張と展開

本年度下半期以降、リッチクライアント、簡易トレードツールを段階的に市場投入予定

当社におけるシステム拡張、移行計画を内製化により実現し、既存システム環境へのサービス追加、新規システムの開発、切り替えを行ってまいります。

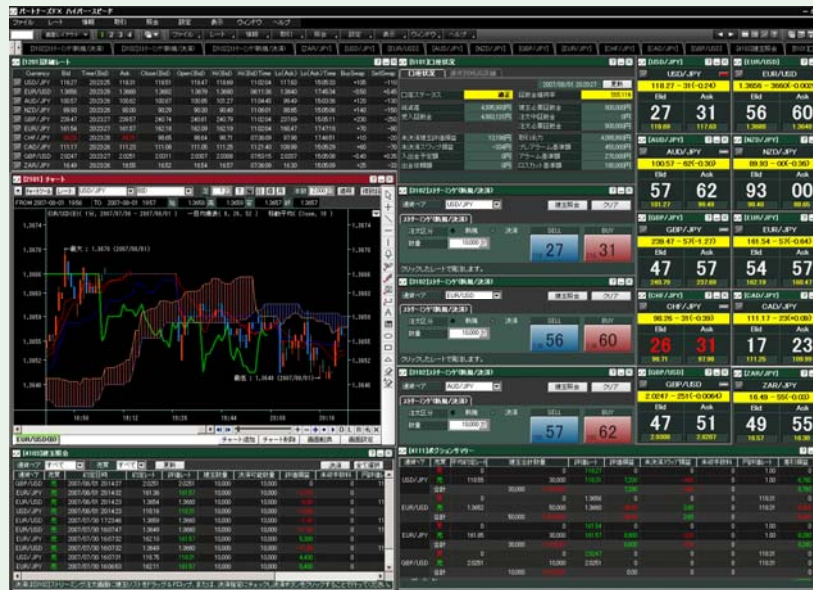
【既存環境】



将来的には、他金融商品への拡張、他クライアントへの供給を想定 (ASP展開)

「HyperSpeed」の多機能化により一層の差別化を推進

チャート分析とトレーディングが同一画面内で行える
リッチクライアント型トレードシステム「Hyper Speed」の高機能・多機能化を推進し、
顧客利便性とロイヤリティの強化に努める。



■ Ver.2.0で実装された主な機能

- ・画面内からストリーミング注文ができる取引機能
- ・残高、証拠金情報が閲覧できる照会機能
- ・ポジション情報が閲覧できる照会機能
- ・顧客の注文や約定情報を一括表示するお知らせ機能
- ・ウィンドウのカラー変更機能

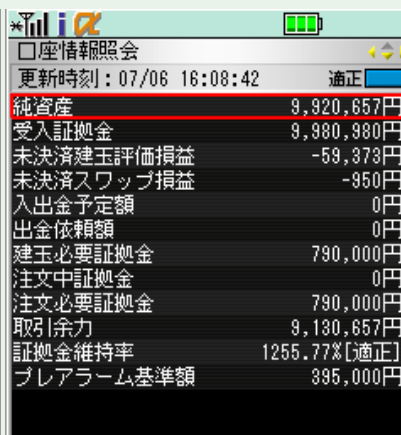
顧客満足度を高める機能の増強に加え、新たな各種売買ツールの提供を図り競合との明確な差別化を追求。

リッチクライアント型トレードシステムのモバイル版 「Hyper Speedモバイル」の提供



「Hyper Speed」のi-アプリバージョンである「Hyper Speedモバイル」(i-アプリ版)のサービス提供により、モバイルによるトレード環境を改善。更なる顧客満足度向上を目指す。

「Hyper Speedモバイル」のレート表示、ストリーミング注文、口座開設照会、チャートの各画面見本



高い耐震性と高セキュリティ、回線の高速安定化、 システムの冗長化を実現する第二データセンターを構築

6段階にも及ぶ高セキュリティと高耐震性を確保できる
日本最大級のデータセンターに120㎡エリアを確保。
基幹データベース、アプリケーションサーバ、
Webサーバを含む200台以上のサーバ群を順次稼動。

物理的リスクへの対策

信頼性 安全性

サービスレベルの向上

Internet回線は国内最大の
IX(Internet Exchange)である
(dix-ie,JPIX)へ直接アクセスが可能。
高速かつ安定したサービスの供給を実現。

BCP、DRの要件に対応

第一データセンター、第二データセンター、
六本木オフィス間を
全てギガビットのネットワーク回線により接続。
基幹データを相互に保持し、ネットワーク、サーバ、
データセンターをも含めて冗長化。

2007年度12月期より実施する配当の金額を決定

当期より、当社株式を長期保有していただく株主の皆様へ業績に応じて株主配当を行うことで株主利益の最大化を目指してまいります。

配当政策

当期純利益の25%を
配当性向の目処とする予定

配当金額

2007年12月期1株当たり配当金(予定)

基準日	中間	期末	年間
配当金額	—	5,900円	5,900円

※現在のところ1株当たりの配当予想は上記の通りであります。現時点における通期業績予想に基づく配当予想のため、金額は変更される可能性があります。なお、本件は平成20年3月開催予定の第3回定時株主総会に付議する予定です。



Money Partners

株式会社マネーパートナーズ

2007年11月12日

参考資料

- ・当社の概要と沿革について
- ・当社の事業内容、収益構造、強みについて
- ・パートナーズFXのご紹介

- 商号 株式会社マネーパートナーズ

- 本社 〒106-6016 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー16F
- 代表取締役社長 奥山 泰全
- 設立日 2005年6月10日
- 資本金 17億2,631万円（平成19年9月30日現在）
- 登録番号 関東財務局長(金商)第297号

- 主な事業内容
 1. 金融商品取引法に基づく外国為替証拠金取引及びこれに付随する一切の業務
 2. 外国通貨の売買、売買の媒介、取次ぎもしくは代理、その他これに付随する業務
 3. 金融商品取引業及びこれに付随する業務

- 関連会社 株式会社マネーパートナーズソリューションズ
(100%出資子会社)



社是

DON'T STOP!

止めない、止まらない。
マネーパートナーズの社是です。

企業理念

投資家の保護育成と顧客第一主義に努め、
外国為替証拠金取引市場の健全な発展に寄与する。

カスタマー
ファースト

イノベーション

バリューアップ

コンプライアンス

会社沿革

年月		事項
平成17年6月	新設分割	<input type="checkbox"/> 一般投資家向けにインターネット等を通じた外国為替証拠金取引サービスを提供することを目的として、株式会社マネーパートナーズを東京都港区西麻布(資本金100,000千円)に設立し、外国為替取引事業を開始
平成17年10月	システム一新	<input type="checkbox"/> インターネット取引の利便性の向上を目的として、株式会社シンプレクス・テクノロジーのトレードシステムを採用しシステムを全面的にリニューアル
平成17年11月	本社移転	<input type="checkbox"/> 本社所在地を東京都港区六本木へ移転
平成18年3月	クイック入金開始	<input type="checkbox"/> 金融先物取引業登録(登録番号: 関東財務局長(金先)第117号) 社団法人金融先物取引業協会加入 <input type="checkbox"/> 顧客がインターネットによって常時入金可能な「クイック入金サービス」を開始
平成18年6月	信託保全開始	<input type="checkbox"/> エス・ジー・信託銀行株式会社と業務提携し外国為替取引における顧客資産の信託保全サービスを開始
平成18年7月	レバレッジ 25倍→50倍	<input type="checkbox"/> インターネット取引手数料無料及びレバレッジ約40倍から約50倍のサービス提供を開始
平成18年8月	8通貨→10通貨	<input type="checkbox"/> 南アフリカランド/円、英ポンド/米ドルを加え取引通貨を10通貨ペアに
平成18年9月	システム子会社 設立	<input type="checkbox"/> システム開発力の強化を目的として、株式会社マネーパートナーズソリューションズを100%出資子会社として設立
平成18年11月	レバレッジ100倍 コース開始	<input type="checkbox"/> レバレッジ約80倍から約100倍とする「ハイレバレッジコース」のサービス提供を開始 <input type="checkbox"/> モバイル取引において複合注文機能を実装
平成19年1月	ロゴ・HP一新	<input type="checkbox"/> CI政策を実施しコーポレートマーク、コーポレートカラー、ホームページを一新 <input type="checkbox"/> 証拠金定額制の導入
平成19年6月	プライバシー マーク取得	<input type="checkbox"/> 「プライバシーマーク」認定取得[認証番号: 第A680011(01)号]
平成19年6月	上場	<input type="checkbox"/> 大阪証券取引所ヘラクレスに上場(証券コード: 8732)

平成18年7月よりインターネット取引手数料の完全無料化

Foreign Exchangeの略 ⇒ FX取引

1998年外為法改正



為替取引の完全自由化

個人投資家の取引活発化



マーケットオリエンテッドな取引商品

2005年改正金先法施行



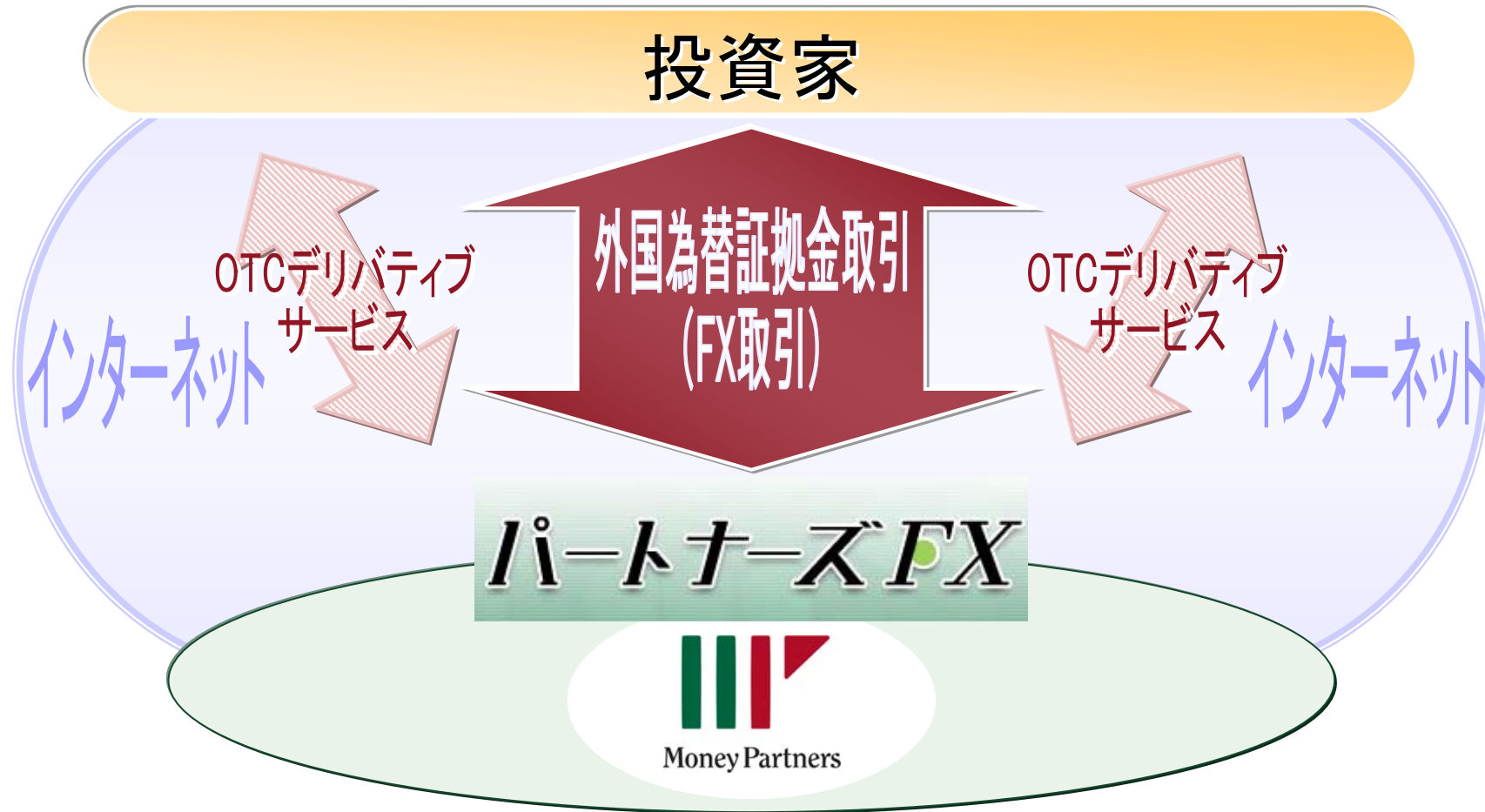
業者の乱立と淘汰（600社→100社強）

2007年9月金商法施行



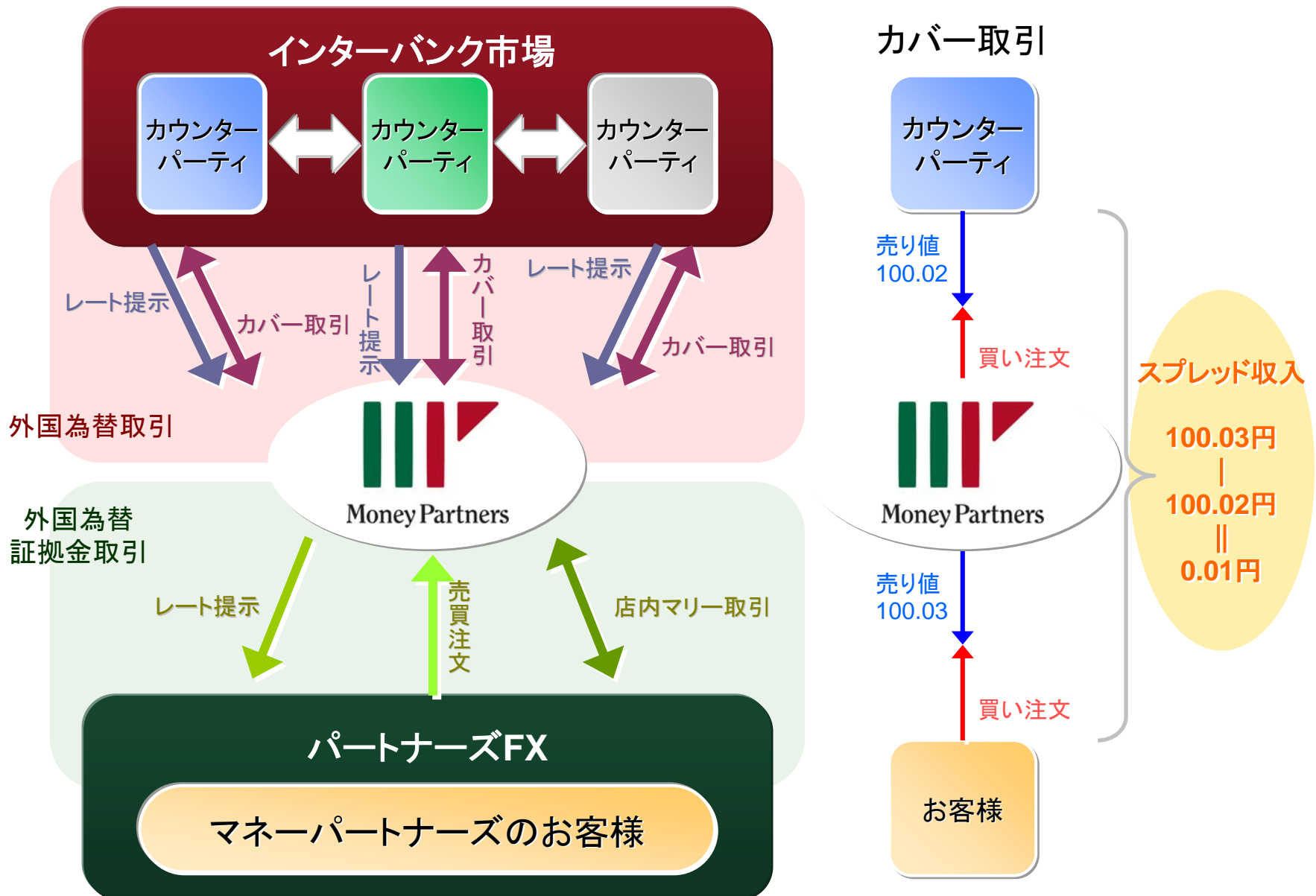
証券会社と同種扱いの金融庁管轄に。
透明性や内部管理体制の更なる厳格化

- 激化する競争環境の中、成否二極化の様相！！
- マネーパートナーズはFX専業・ネット専業の業者として業績を拡大しています。



- 当社は、外国為替証拠金取引 (FX) 専門の会社です
- 当社は、取引のほぼ全てをインターネットで行っております
- 当社は、FXを軸にOTCデリバティブサービスを展開していきます

当社の収益構造



当社の強み

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性

- 手数料や会員費に頼らないトランザクションに依拠した収益構造の優位性
- 国内の同業者の中で早期にインターネット取引手数料無料化を実現したことにより顧客増加→取引量の増加の好循環を実現し、収益は大きく拡大
- 固定費微増、トランザクション急増により、高い収益を獲得

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤

- インターネットによりデイトレードやスイングトレードを行うアクティブ層の取り込みと定着化に成功
- ビギナー層の取り込み ⇒ アクティブ化への教育・啓蒙 ⇒ アクティブ層の拡大を戦略的に展望

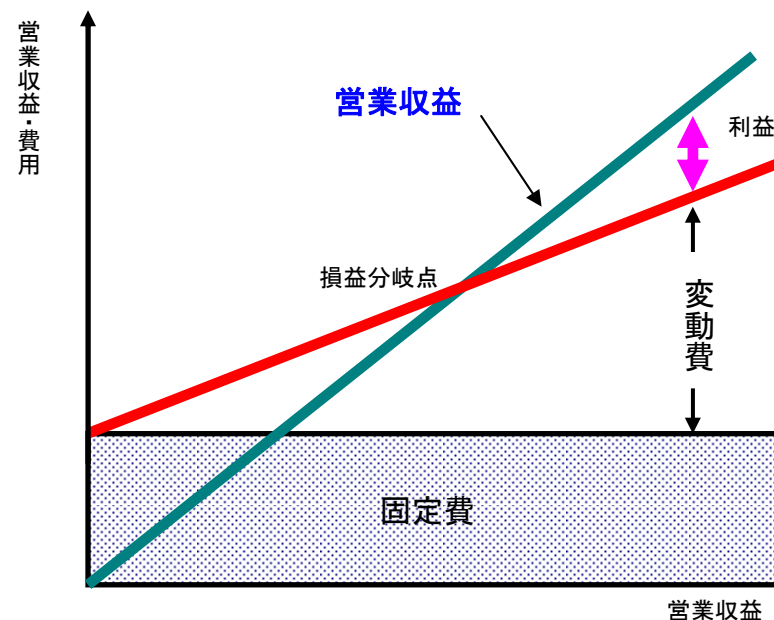
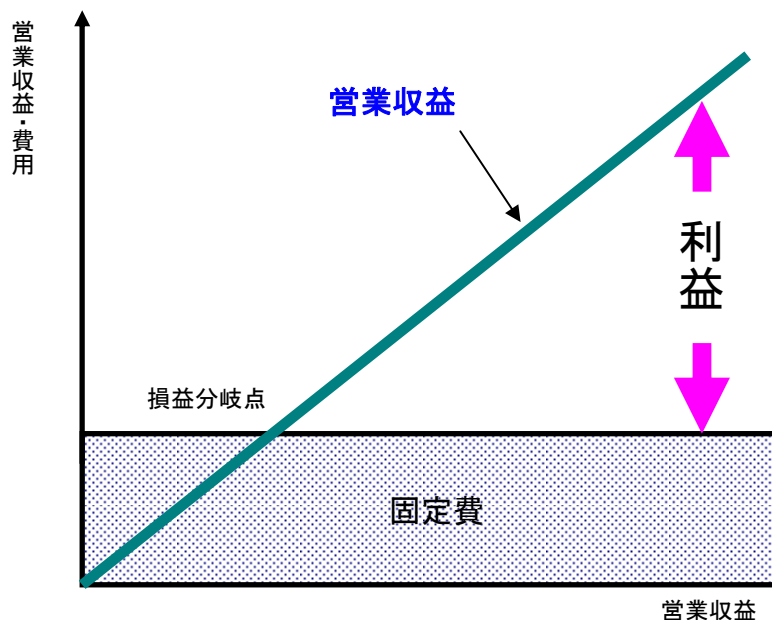
3. 子会社を通じたシステムの内製化

- 100%出資のシステム子会社を設立したことで、柔軟・迅速な対応が求められるネット企業においてシステム設計・開発、自社所有、システム保守・運用に関する優位性を確保

1. トランザクション型ビジネスモデル構築による高収益性 ～トランザクション型ビジネスモデルとは～

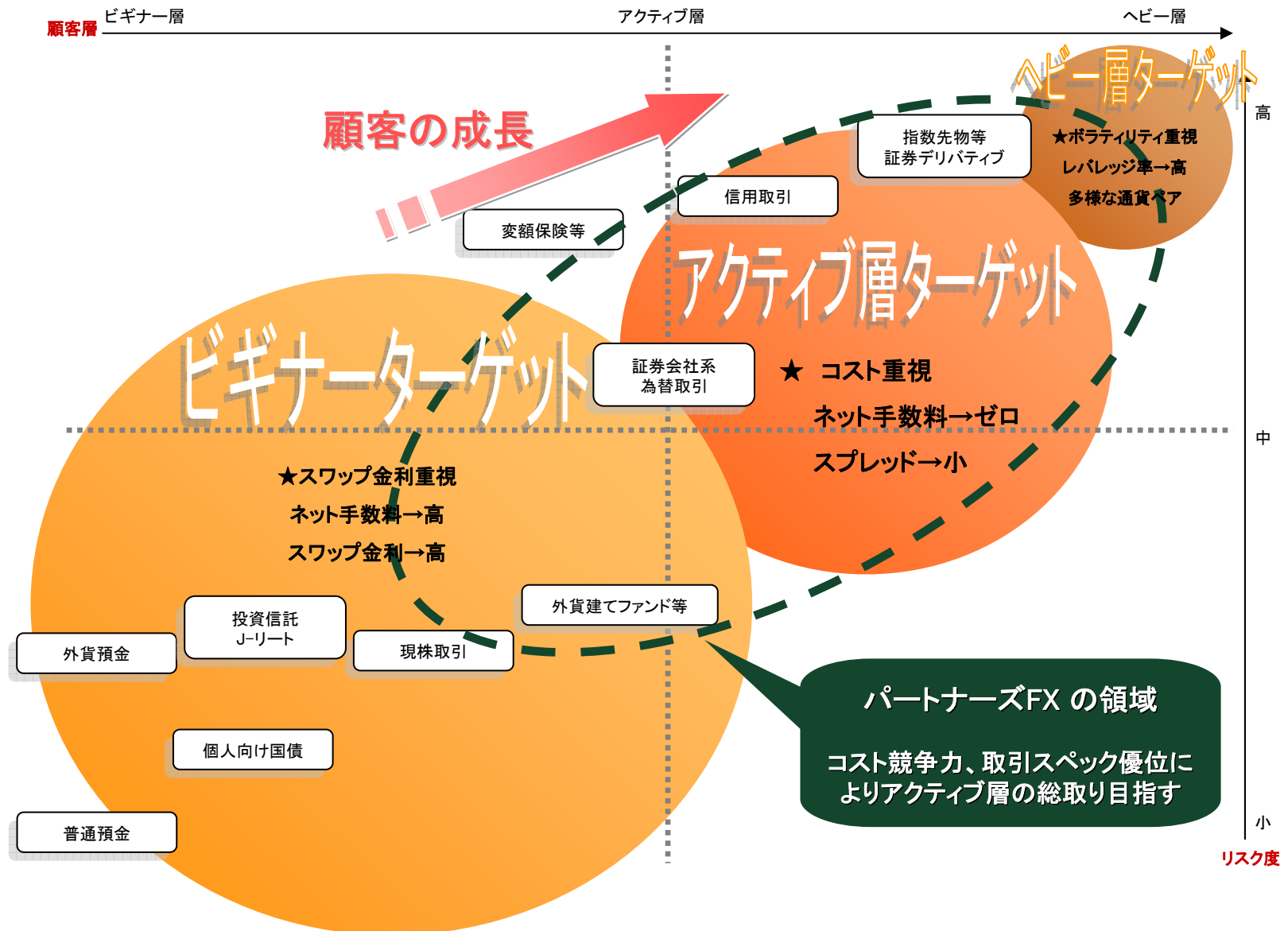
トランザクション型
マネーパートナーズ

非トランザクション型
製造業、小売業・

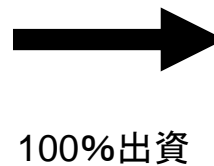


固定費を超える売上がほぼ利益となる事業構造

2. アクティブユーザーをコアにした顧客基盤 ～パートナーズFXの商品特性と顧客層～



3. 子会社を通じたシステムの内製化 ～システム内製化によるメリット～



株式会社 マネーパートナーズソリューションズ

■設立 2006年9月15日

■代表者 小西 啓太

■資本金 3,000万円

■主な事業内容

外国為替証拠金取引に関するコンピュータシステム設計・開発

◆システム内製化によるメリット◆

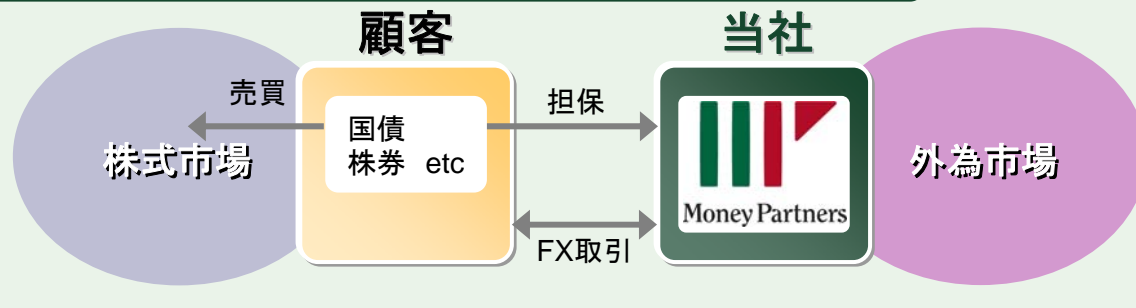
1. 独自の保守・運営体制確立によるコスト削減効果
2. 全社戦略に則った計画的・機動的なシステム設計・開発
3. システム自社開発・所有によるBtoBビジネス展開
4. 人材の確保とITスキルの蓄積

今後の当社システム開発における設計・要件の権利化と
合理化・コスト削減を目指す、システム子会社を設立

2007年度以降に、証券業の登録を取得し、証券会社となることを計画

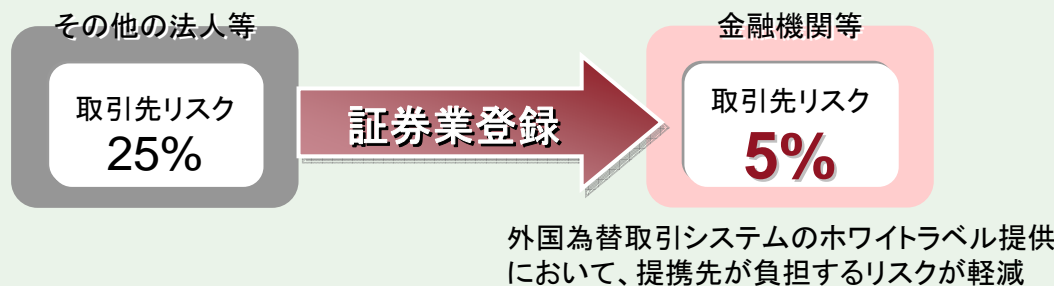
証券業登録の目的

1. 有価証券担保によるFX取引サービスの展開



株券や国債等の二重活用でお客様満足度・利便性の向上

2. BtoBにおける当社の取引先リスクを軽減



外国為替取引におけるBtoBビジネス、業務提携の進展に寄与

3. 当社ブランド力の向上

ブランド力アップにより事業展開や顧客増加にプラス効果

パートナーズFX

「パートナーズFX」は当社が取扱う外国為替証拠金取引のサービス名称です。

The screenshot shows the Money Partners website interface. At the top, there are navigation tabs for '取引注文' (Trade Orders), '取引照会' (Trade History), '口座管理' (Account Management), '情報ツール' (Information Tools), 'お客様情報' (Customer Information), '報告書' (Reports), 'シミュレーション' (Simulation), and 'ホーム' (Home). Below this is a table of currency rates for USD/JPY, EUR/JPY, AUD/JPY, NZD/JPY, and GBP/JPY, each with bid and ask prices. A '新規注文' (New Order) section is visible, with options for '注文タイプ' (Order Type) and '注文内容' (Order Details).

This screenshot shows the '新規注文' (New Order) form. It includes a '通貨ペア' (Currency Pair) dropdown menu, a 'レート表示' (Rate Display) section showing the current rate (2007/02/08 18:17) and a list of available rates for various currency pairs like USD/JPY, EUR/USD, AUD/JPY, NZD/JPY, GBP/JPY, EUR/JPY, CHF/JPY, CAD/JPY, and GBP/USD. There are also fields for '数量' (Quantity), '執行区分' (Execution Type), and '注文レート' (Order Rate).

パートナーズFXの顧客用トレード画面
 初心者にもわかりやすいインターフェースを採用することで、幅広い投資家層の支持を得ています。

モバイル用パートナーズFXトレード画面
 3キャリアに対応しており、24時間(※)動き続けるFX取引をサポート。

当社は、2005年6月に外国為替証拠金取引専門業者として設立し、業界に先駆けて新たなサービスを打ち出し、業界のリーディングカンパニーの1社としてサービスの提供を行っております。

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

パートナーズFX の特徴① ～ネット取引がほぼ100%～



URL <http://www.moneypartners.co.jp/>

Money Partners 外国為替証拠金取引-FX-

マネーパートナーズは
インターネットのFX取引
手数料が0円 証拠金は定額

1月22日より取引単位当りの
証拠金は定額

ハイレバコース (レバレッジ約100倍) 証拠金が
ご希望のお客様は
さらに半額!

ハイレバコース詳細

チェック項目

NEWS

法人のお客様

FXコラム

マーケットレポート

その他お知らせ

Money Partners 外国為替証拠金取引-FX-

外国為替とは?
FX Beginners Guide

ここでは「外国為替とは?」というテーマに、FX取引を始める上で必要な知識である「外国為替取引の基本」について、はじめての方でも解りやすく説明しています。

目次

- 外国為替とは?
- 為替レートの見方
- 円高・円安とは
- 外国為替市場はどこにあるの?
- 為替市場は終わらない

外国為替 月刊コラム

高替取引とは、
1ヶ月は銀行行方するとは、
いらないと思いませんか?

「外国為替古今東西」
行天 豊雄

小淵首相の助言役として内閣特別顧問を務めた「行天豊雄」が、外国為替についての古今東西を種々上げた貴重なコラムです。外国為替に興味のある人は必見です!

「外貨投資 転ばぬ先の智慧」
田崎 智太郎

今週の為替市場を展望するとともに、為替投資で負けない秘訣をじっくり検証

「サイバー・トレーダーの声なき声」
矢口 新

世界を走り歩いた為替ディーラー矢口新が相場の様子を伝授!

「市場養生訓」
小口 幸伸

為替市場で長く生き抜く為の、識・物の見方などもお話し

「為替の話・トレンドを掴め!」
木村 佳子

円・ドル・ユーロなど、為替の見直しを毎週フォロー。為替のトレンドを予測し、解説します。

Money Partners 外国為替証拠金取引-FX-

口座開設手順

STEP 1 口座開設
STEP 2 約款同意
STEP 3 取引開始
STEP 4 入金
STEP 5 入金完了

ご氏名 姓: [] 名: [] (姓) ※必須
フリガナ 姓: [] 名: [] (姓) ※必須
国籍 (金貨) (紙日本円) (紙米ドル) ※必須
生年月日 西暦 [] 年 [] 月 [] 日 (年内) ※必須
性別 男性 女性 ※必須

ご職業

会社役員 会社員 公務員
自営業 自営業 専業主婦 専業主婦
無職 無職 無職
学生 学生 学生 学生
主婦 主婦 主婦 主婦

主収入源 (職業・業種・職種を複数選択可) ※必須
[]

金融資産 (金融機関保有資産) ※必須
[]

お取引経験

口座開設の手続きは、
ネット上でほぼ完結

初心者にもわかりやすいコンテンツや著名な
執筆者によるコラムなど数多く用意しております。

ネットを介した取引がほぼ100%を占め、新規の口座開設もほとんどの
お客様が当社のホームページ経由でお申込みされています。

パートナーズFX の特徴② ～充実した情報ツール～

為替は24時間(※)世界中で取引されており、レートも様々な要因で変動します。
世界情勢や重要な経済指標・要人発言はもちろん、テクニカル的な要因でも大きな変動をみせます。
そこで必要な情報として、マネーパートナーズでは、複数のチャートツールと複数のニュースをお客様に提供し、
投資判断を行う際にお役立ていただいております。

チャート: 高機能アプリケーションチャートシステム「ハイパースピード」
に加え、WEB版チャートシステム「MP Chart」など3種類

アジアンタチャート

MPチャート

ハイパースピード

ニュース: 「ロイターニュース」や1日150本以上のニュース
が配信される「Market Win24」など、3種類

Fiscoニュース

Reutersニュース

ロイターニュース

MW24

セミプロ層を中心に初心者まで幅広くサポート

※週末のNY外国為替市場の終了時から、翌週の東京外国為替市場の開始時までを除く

パートナーズFX の特徴③ ～ 主要な通貨ペアに対応～

米ドルやユーロといった主要通貨をはじめ、高金利通貨として人気を集めるオーストラリアドル・ニュージーランドドルなどを取扱っています。

投資家のニーズに合わせて、各通貨ペアとも、インターバンク市場での取引単位の約100分の1となる10,000単位での取引を実現

当社取扱い通貨ペア



USDJPY
米ドル円



AUDJPY
豪ドル円



EURJPY
ユーロ円



NZDJPY
NZドル円



GBPJPY
英ポンド円



ZARJPY
南アランド円



CADJPY
カナダドル円



CHFJPY
スイスフラン円

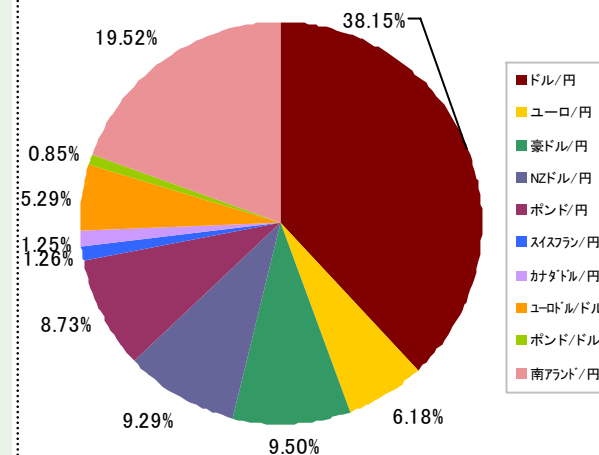


EURUSD
ユーロ米ドル



GBPUSD
英ポンド米ドル

下記グラフは当社の平成19年11月2日時点での当社取扱い通貨ペア別のポジション比率をあらわしたものです。

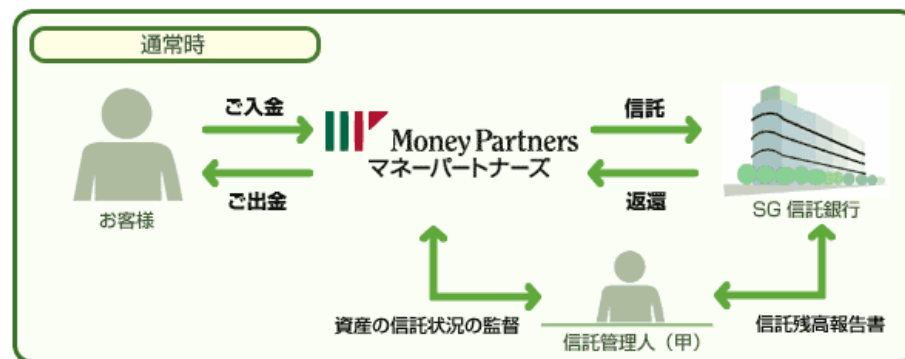


今後もお客様のニーズに合わせて取扱い通貨を増やしていく予定です。

パートナーズFX の特徴④ ～信託保全～

外国為替証拠金取引は、金融商品取引法に基づき、顧客資産の分別管理が義務付けられております。当社は、SG信託銀行と信託契約を締結し、顧客資産を信託口座にて分別管理しております。信託口座による分別管理を行うことで、当社が万一破綻した場合にも、信託管理人によって信託管理人口座からお客様へ直接返還される仕組みになっています。

お客様からのお預り資産は
全額信託銀行にて管理



万一の破綻時には、お客様へ
全額信託管理人口座より
直接返還されます



お客様に安心してお取引いただける環境を提供しております。

パートナーズFX の特徴⑤ ～クイック入金～

取引システム上で提携している金融機関から即時に取引口座に入金が行えるサービス「クイック入金」

クイック入金の特徴	
1	取引画面からスピーディな入金
2	入金手数料無料
3	24時間 ^(※) いつでも入金可能

提携先金融機関



三井住友銀行

三井住友銀行

みずほ銀行

みずほ銀行



ジャパンネット銀行

ジャパンネット銀行



イーバンク銀行

イーバンク銀行



ゆうちょ銀行

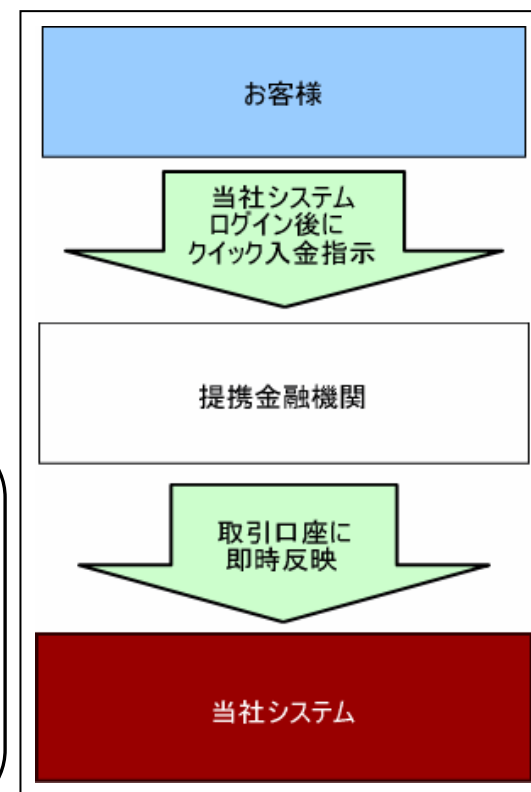
ゆうちょ銀行



三菱東京UFJ銀行

三菱東京UFJ銀行

平成19年4月末 現在
提携金融機関は今後も追加していく予定です。

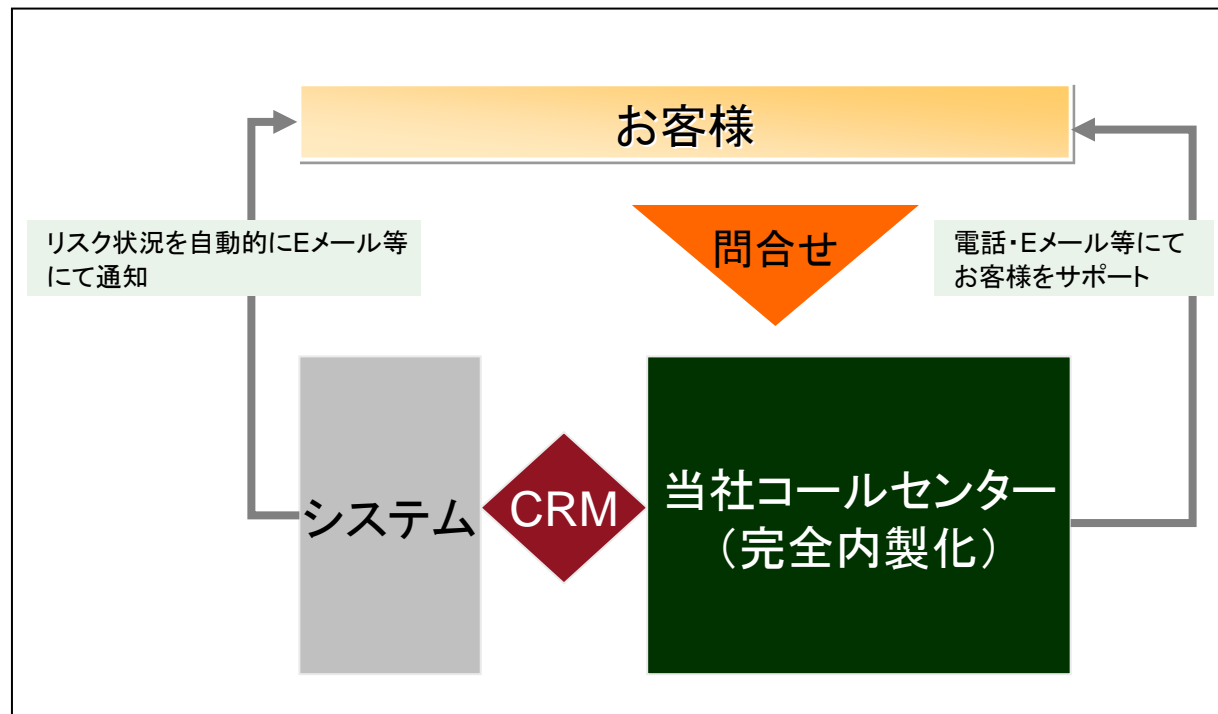


各種金融機関と提携することにより、動き続ける為替市場でのリスク管理や投資の機会損失に備える手段を提供しております。

※システムメンテナンス時間を除く

パートナーズFXの特徴⑥ ～コールセンター～

ネット取引が主体である当社においても、まだ新しい金融商品であるFX取引では、お客様からの様々なご質問・ご要望をサポートする体制を整えることが、重要であると考えております。
当社では品質を主体的に管理することを目的とした上で、コールセンターを内製化し、システムとの連携を図った上で、24時間お客様に安心と信頼のサービスを提供しております。



24時間3交代(15名)制で顧客管理・サポートを徹底

パートナーズFXは、取引通貨の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売り付けた際の清算金額が買い付けた際の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じることとなるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回ることとなるおそれがあります。

取引手数料はインターネット取引の場合、新規・決済共に無料(電話取引の場合は10万通貨単位未満の取引では1通貨単位あたり片道20銭、10万通貨単位以上の取引では1通貨単位あたり片道10銭)。取引に必要な証拠金は1万通貨単位あたり1万円(ハイレバレッジコースの場合5千円)から5万円で、通貨ペアごとに異なり、証拠金の約50倍(ハイレバレッジコースは約100倍)までの取引が可能です。各通貨の売付価格と買付価格とには差額(スプレッド)があります。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者)
〈登録番号〉関東財務局長(金商)第297号
〈加入協会〉社団法人 金融先物取引業協会(会員番号1540)